

「男女共同参画に関する住民アンケート」 調査結果報告書

平成30年4月

宮崎県 川南町

調査の概要

調査目的

この調査は、男女共同参画社会の形成に向けて、広く町民の皆様に男女平等に関する意識や御意見をお聞きし、今後の川南町の男女共同参画施策に反映させていくための基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査項目

- 1 男女共同参画について
- 2 家庭生活及び結婚・家庭観について
- 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- 4 就業について
- 5 地域活動について
- 6 政策決定への参画について
- 7 男女の人権への配慮について
- 8 男女共同参画施策について

※具体的な調査項目については、資料3の「アンケート調査票」を御参照ください。

調査設計

- (調査対象) 川南町に在住する18歳以上の男女
2,080名（各1,040名）
- (配布数) 2,080
- (抽出法) 無作為抽出
- (調査方法) 回覧板による配布又は郵便による配布
- (回収方法) 役場口ビー設置による回収箱での回収
- (調査時期) 平成29年2月～4月
- (調査地域) 川南町全域

回収結果

- (配布数) 2,080人
- (回答数) 609人
- (回答率) 29.3%

- (1) 集計結果はすべて小数点以下第2位を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の割合の合計がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- (2) 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答の割合を合計しても「100.0」とはなりません。
- (3) グラフ及び表において「無回答」とあるのは、次のものとなっています。
 - ・回答が表示されていなかったもの
 - ・判別が著しく困難なもの
- (4) 男女別の集計において、無回答があるため、「女性」と「男性」の合計人数が「全体」の人数と合致しません。

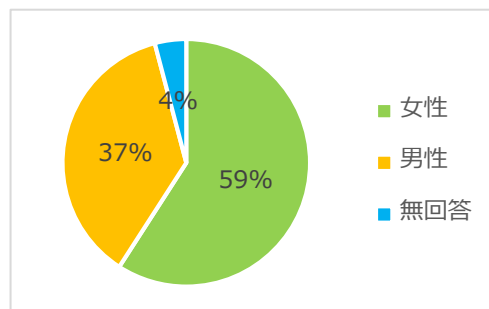
調査結果

回答者の属性について

回答いただいた人の性別、年齢など基礎的なことについてお聞きしました。

回答者の性別

	件数	割合
女性	360	59%
男性	224	37%
無回答	25	4%
計	309	100%



年齢

	女性		男性		無回答		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
①10代	8	2.2%	10	4.5%	0	0.0%	18	3.0%
②20代	19	5.3%	11	4.9%	1	4.0%	31	5.1%
③30代	45	12.5%	16	7.1%	1	4.0%	62	10.2%
④40代	48	13.3%	32	14.3%	0	0.0%	80	13.1%
⑤50代	56	15.6%	41	18.3%	0	0.0%	97	15.9%
⑥60代	114	31.7%	61	27.2%	1	4.0%	176	28.9%
⑦70代以上	69	19.2%	53	23.7%	4	16.0%	126	20.7%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	18	72.0%	19	3.1%
	360	100%	224	100%	25	100%	609	100%

就業

	女性		男性		無回答		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
①自営業	20	5.6%	40	17.9%	1	4.0%	61	10.0%
②家族従事者	35	9.7%	6	2.7%	0	0.0%	41	6.7%
③会社役員	5	1.4%	12	5.4%	0	0.0%	17	2.8%
④常勤(フルタイム)	84	23.3%	71	31.7%	1	4.0%	156	25.6%
⑤パート・アルバイト	73	20.3%	14	6.3%	0	0.0%	87	14.3%
⑥学生	12	3.3%	12	5.4%	0	0.0%	24	3.9%
⑦家事専業	57	15.8%	3	1.3%	0	0.0%	60	9.9%
⑧無職	68	18.9%	59	26.3%	2	8.0%	129	21.2%
⑨その他	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.3%
無回答	5	1.4%	6	2.7%	21	84.0%	32	5.3%
	360	100%	224	100%	25	100%	609	100%

結婚（入籍していない事実婚も含む。）していますか

	女性		男性		無回答		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
①結婚して、夫婦とも就業している	135	37.5%	89	39.7%	3	12.0%	227	37.3%
②結婚して、夫のみ就業している	46	12.8%	23	10.3%	0	0.0%	69	11.3%
③結婚して、妻のみ就業している	19	5.3%	14	6.3%	0	0.0%	33	5.4%
④結婚して、夫婦とも就業していない	60	16.7%	29	12.9%	3	12.0%	92	15.1%
⑤離別・死別した	47	13.1%	18	8.0%	0	0.0%	65	10.7%
⑥結婚していない	47	13.1%	47	21.0%	0	0.0%	94	15.4%
無回答	6	1.7%	4	1.8%	19	76.0%	29	4.8%
	360	100%	224	100%	25	100%	609	100%

家族構成

	女性		男性		無回答		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
①単身	31	8.6%	28	12.5%	1	4.0%	60	9.9%
②夫婦のみ	123	34.2%	75	33.5%	2	8.0%	200	32.8%
③二世帯（自分と親）	48	13.3%	34	15.2%	1	4.0%	83	13.6%
④二世帯（自分と子）	100	27.8%	46	20.5%	3	12.0%	149	24.5%
⑤三世帯（自分と子と孫）	18	5.0%	11	4.9%	0	0.0%	29	4.8%
⑥三世帯（親と自分と子）	30	8.3%	16	7.1%	0	0.0%	46	7.6%
⑦三世帯（祖父母と親と自分）	2	0.6%	7	3.1%	0	0.0%	9	1.5%
⑧その他	5	1.4%	1	0.4%	0	0.0%	6	1.0%
無回答	3	0.8%	6	2.7%	18	72.0%	27	4.4%
	360	100%	224	100%	25	100%	609	100%

お住いの地区

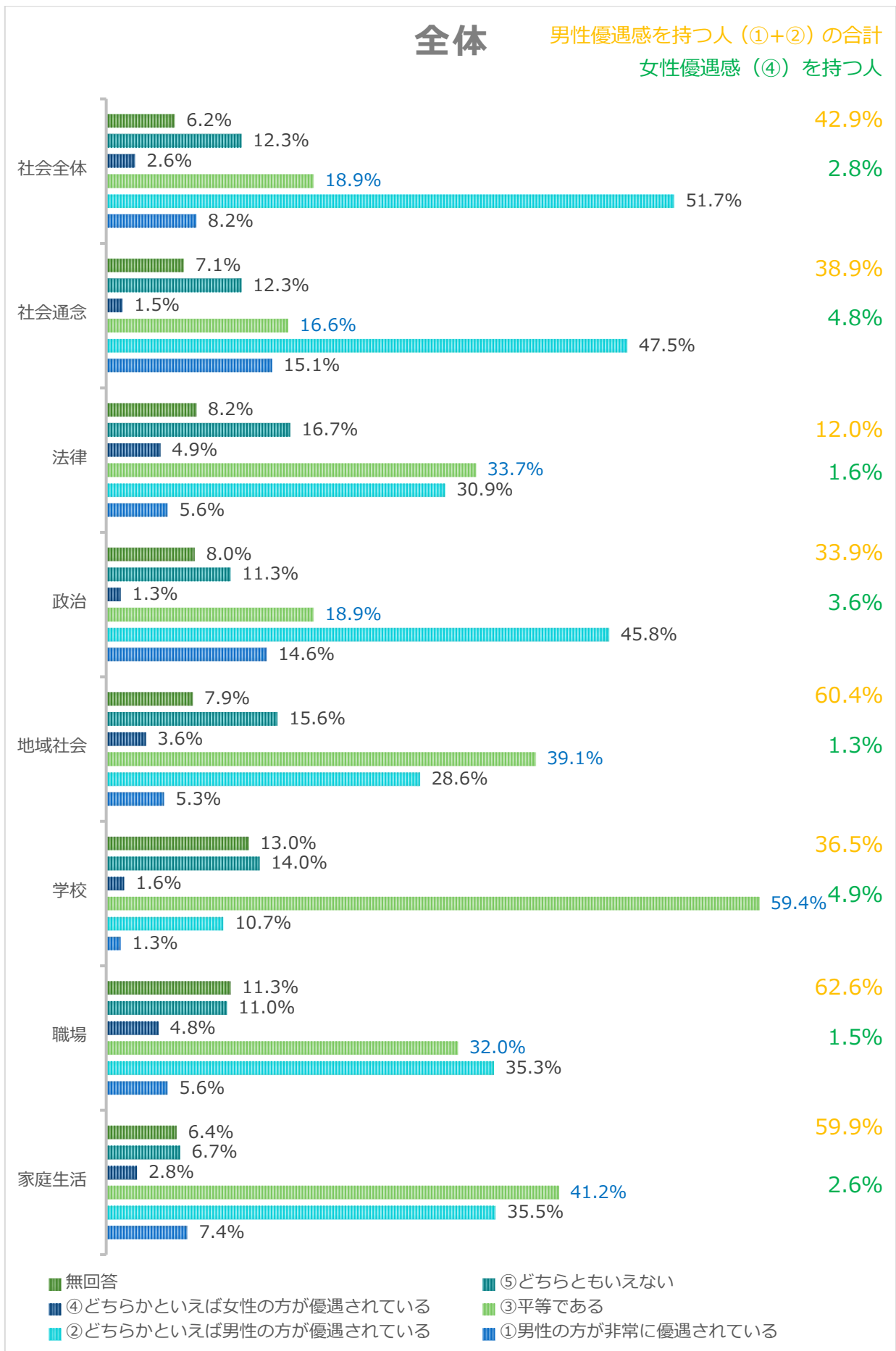
	女性		男性		無		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
①中央地区	117	32.5%	53	23.7%	2	8.0%	172	28.2%
②川南西地区	69	19.2%	45	20.1%	0	0.0%	114	18.7%
③東地区	52	14.4%	40	17.9%	3	12.0%	95	15.6%
④山本地区	21	5.8%	25	11.2%	2	8.0%	48	7.9%
⑤通山地区	61	16.9%	37	16.5%	0	0.0%	98	16.1%
⑥多賀地区	33	9.2%	19	8.5%	0	0.0%	52	8.5%
無回答	7	1.9%	5	2.2%	18	72.0%	30	4.9%
	360	100%	224	100%	25	100%	609	100%

調査内容について

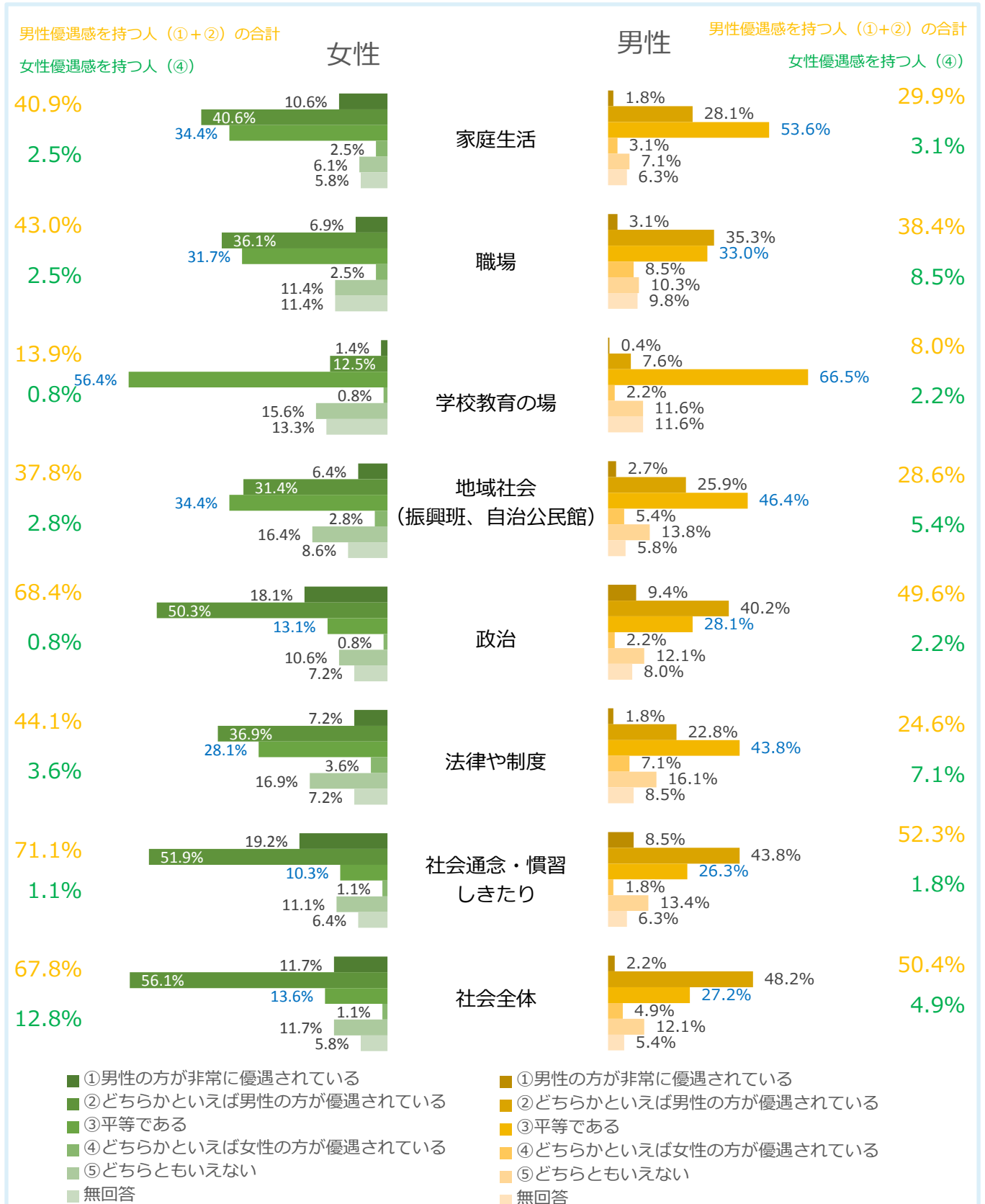
男女共同参画について、考え方や実情をお聞きし、まとめました。

I 男女平等意識について

問1【男女の平等感】あなたは、次にあげるような分野で、男女は平等になっていると思いますか。



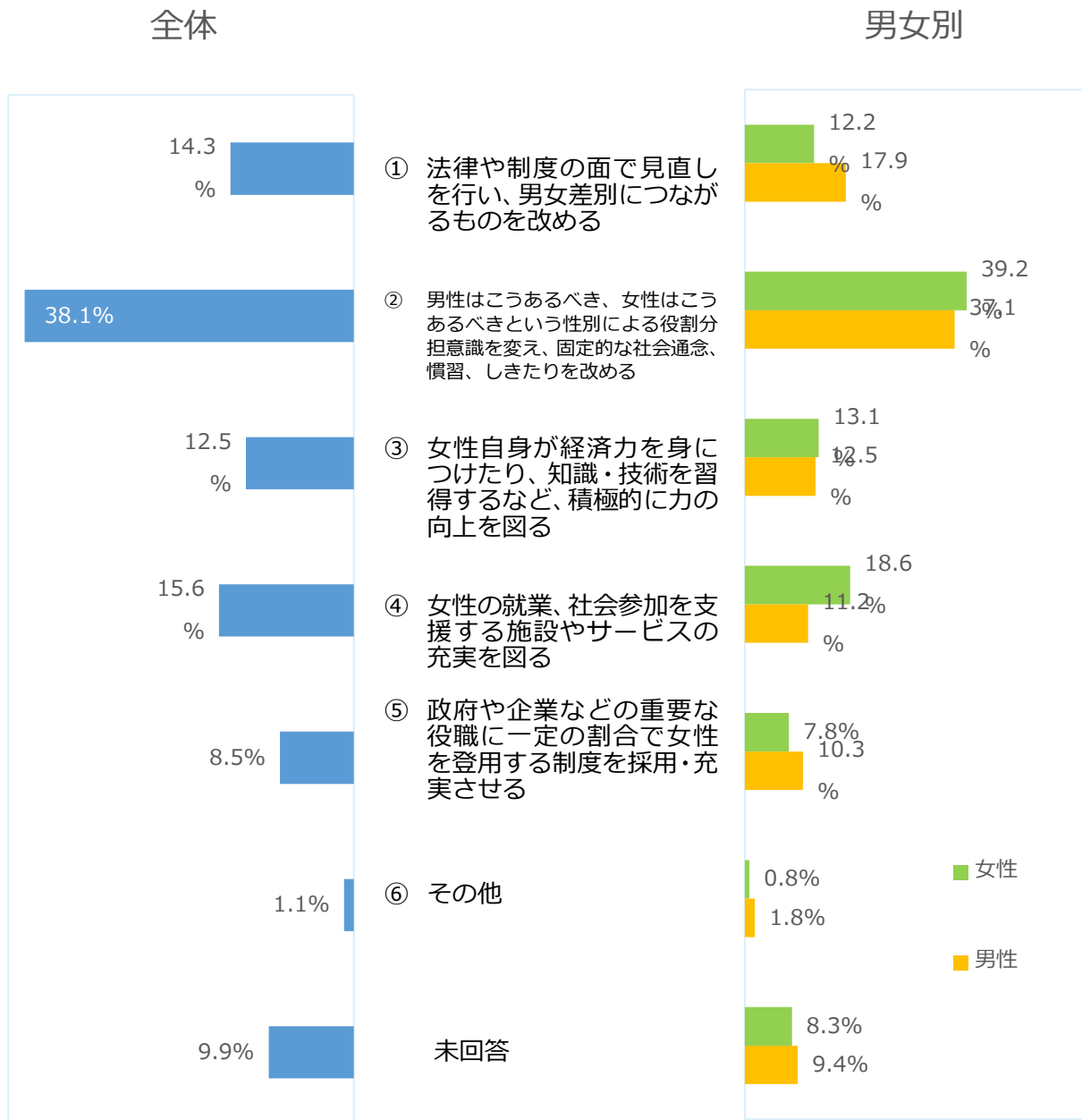
男女別



〈全体〉 男性優遇感を持つ人（「男性の方が非常に優遇されている」及び「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）が、「社会通念・慣習・しきたりなど」では62.6%、「政治の場」「社会全体では」59.9%で、同じ項目を性別でみると男性優遇感を持つ人（「男性の方が非常に優遇されている」及び「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）と感じる人が男性約50%、女性約70%と女性の方が男性優遇感を持つ人が高いことがわかります。

「学校教育の場で」においては、「平等」であると感じる人が59.4%で、性別でみると、「平等である」と感じる男性が10.1%女性を上回っています。

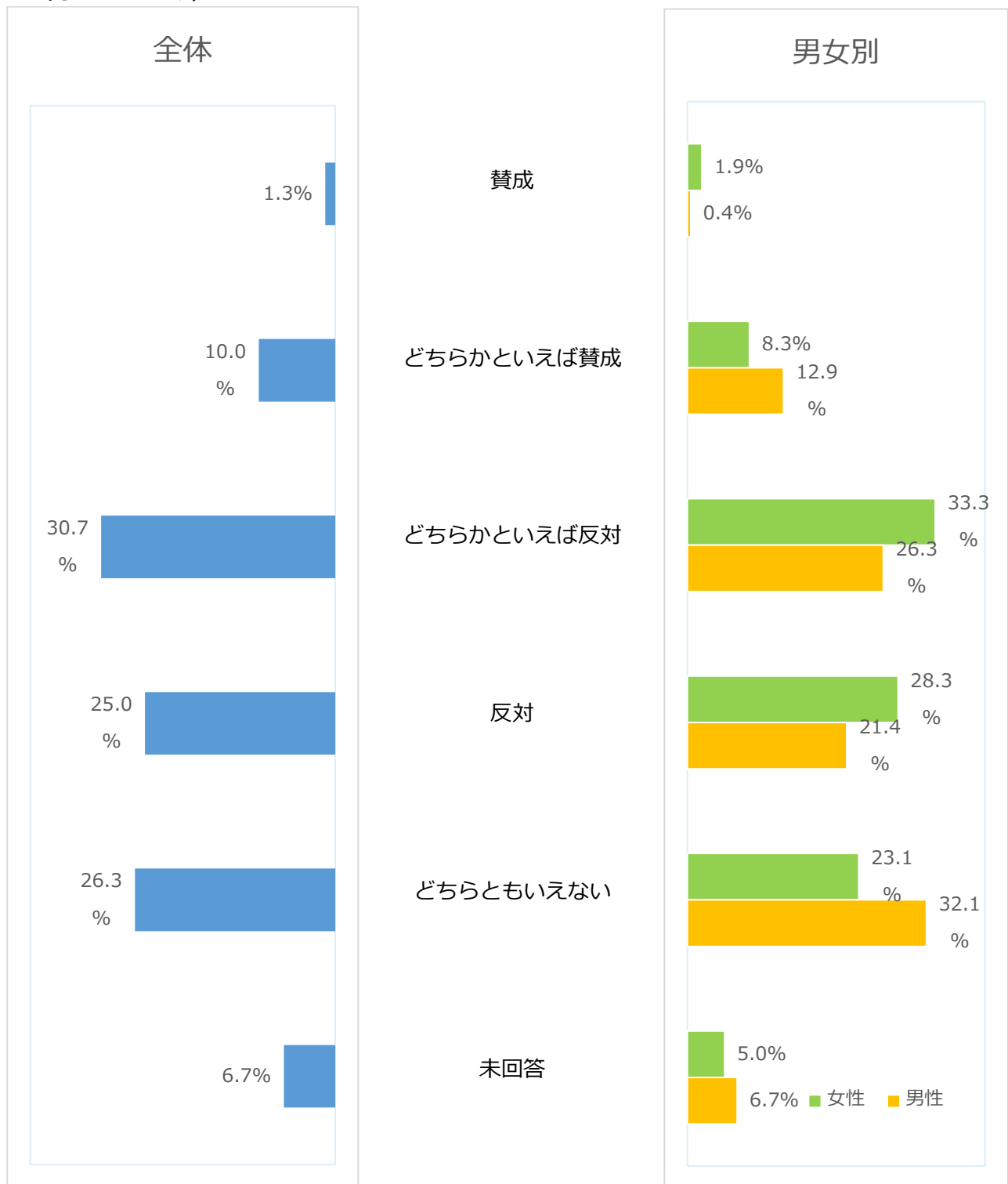
問2【男女平等になるために重要なこと】今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、最も重要と思われることは何でしょうか（○は1つだけ）。



女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・人としてお互い思いやり尊重する。 ・男女は違うものだと思うので、“平等”とするのも考えにギモン。 ・しきたり、固定観念を変え、女性が経済力知識をつけ、そのためのサポートを企業や行政がし制度がととのえる ・女性が子育てを行う面での理解し合える（男性も育休を使うこと） 	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに平等 ・心の教育により男性女性愛と敬意を育む ・子供の時からの教育方針 ・女性が主体的に意識改革して活動すると同時に、男性の偏見意識の改革を図る ・個々の得意に目を向ける ・思いやり

「男性はこうあるべき、女性はこうあるべきという性別による役割分担意識を変え、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める」が男性、女性とも約40%を占めています。

問3【男女の役割分担意識についての考え方】「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである。」というような、性別によって役割を固定する（決めつける）考え方について、どう思いますか（○は1つだけ）。

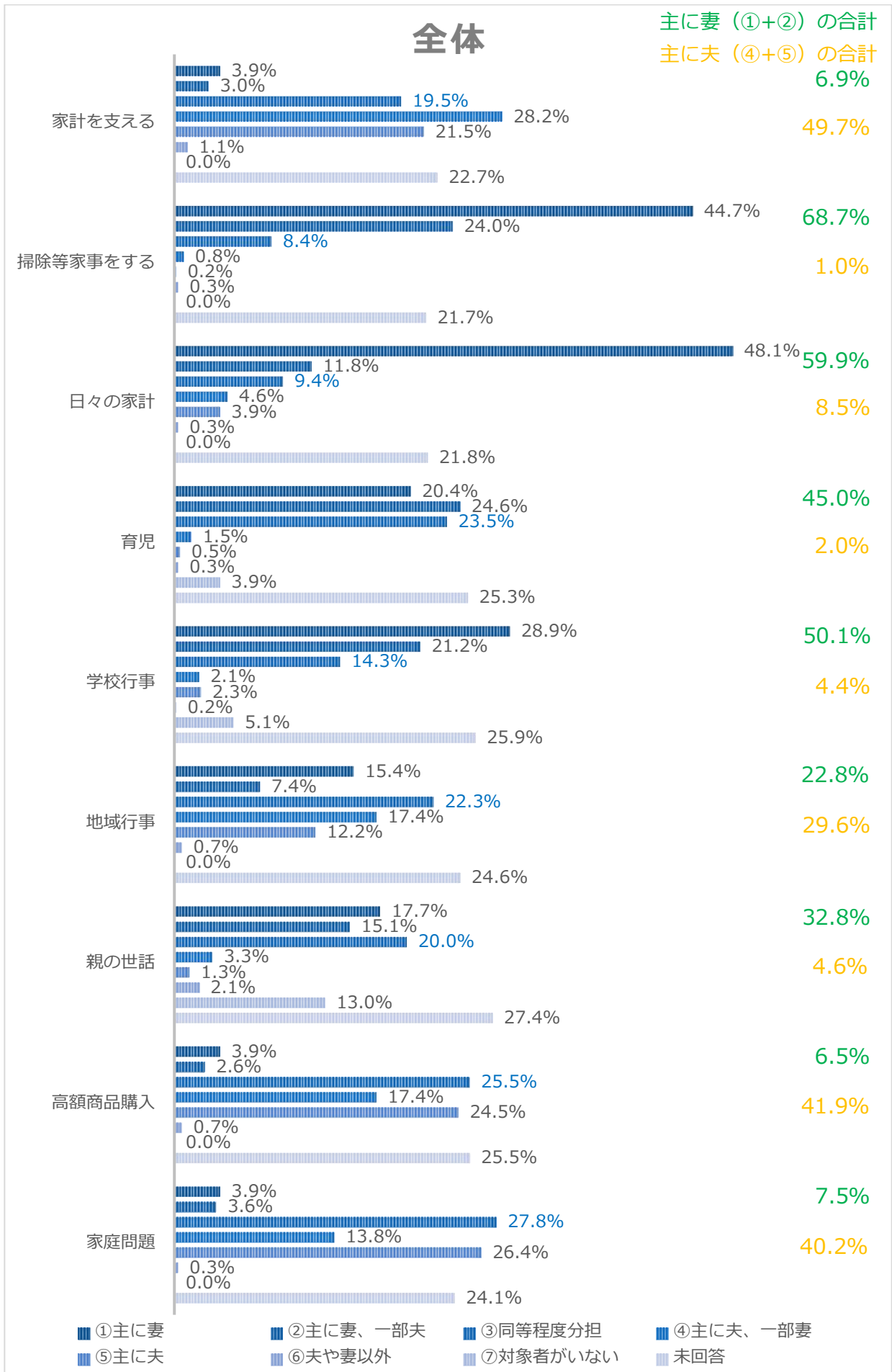


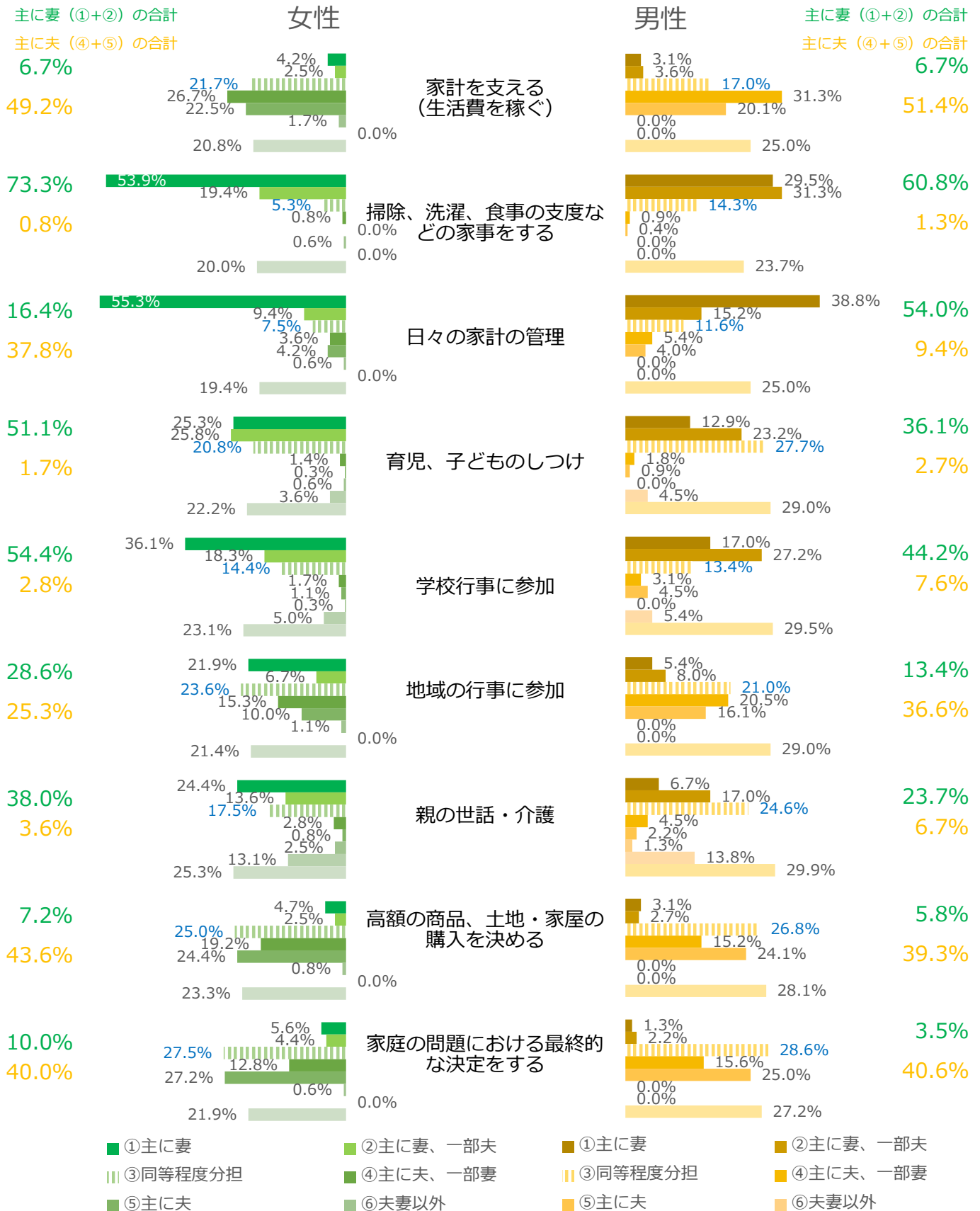
「賛成」（「賛成」及び「どちらかといえば賛成」の合計）と回答した人は11%、「反対」（「反対」及び「どちらかといえば反対」の合計）は55%であり、「反対」が「賛成」を44%上回っています。

年齢別・性別では、「70歳以上」女性、「18～19歳」「60～69歳」男性が、「賛成」という回答が20%でした。

Ⅱ 家庭生活及び結婚・家庭観について

問4【家庭生活での夫婦の役割分担状況】あなたのご家庭では、次の家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。

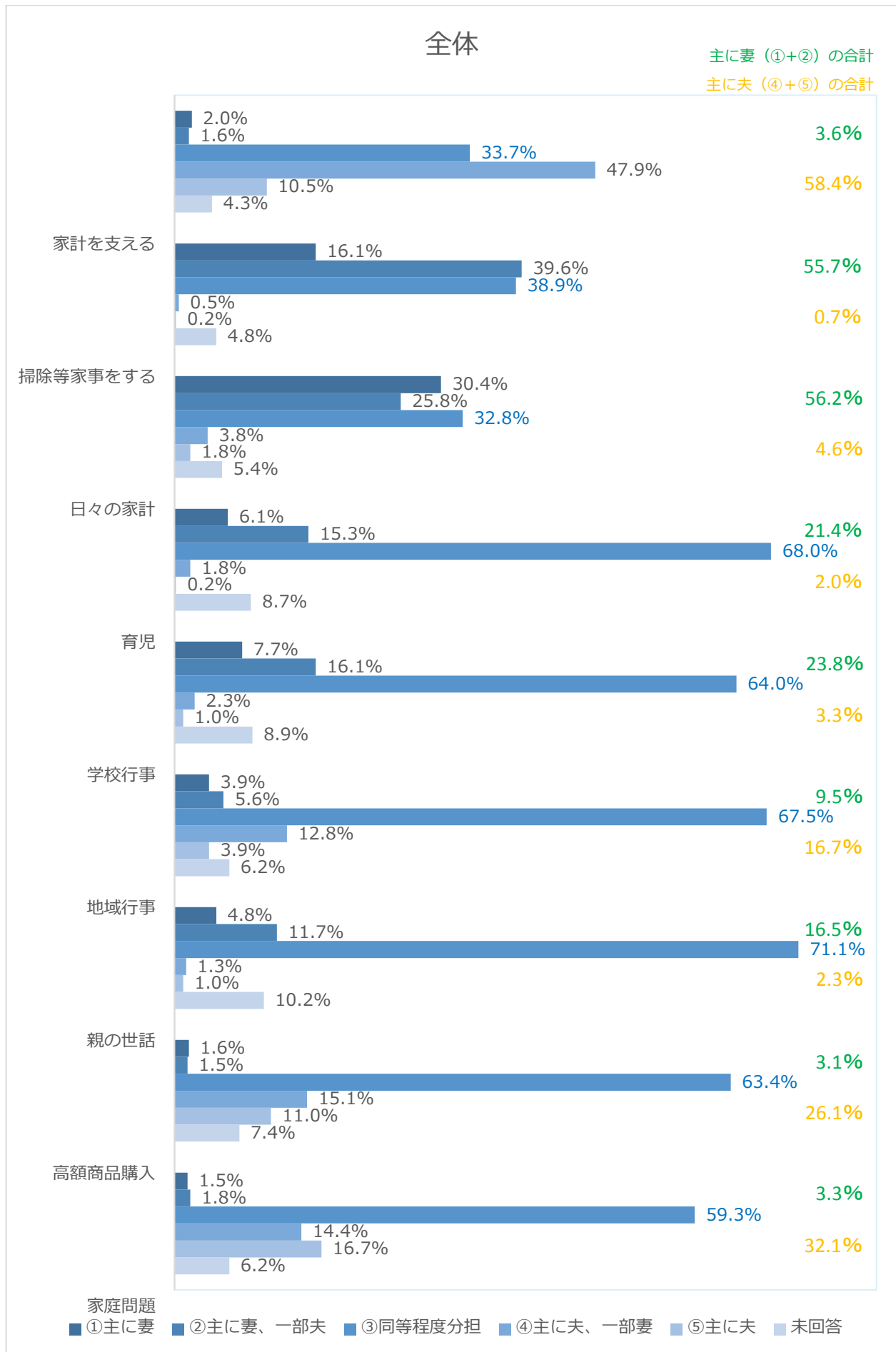


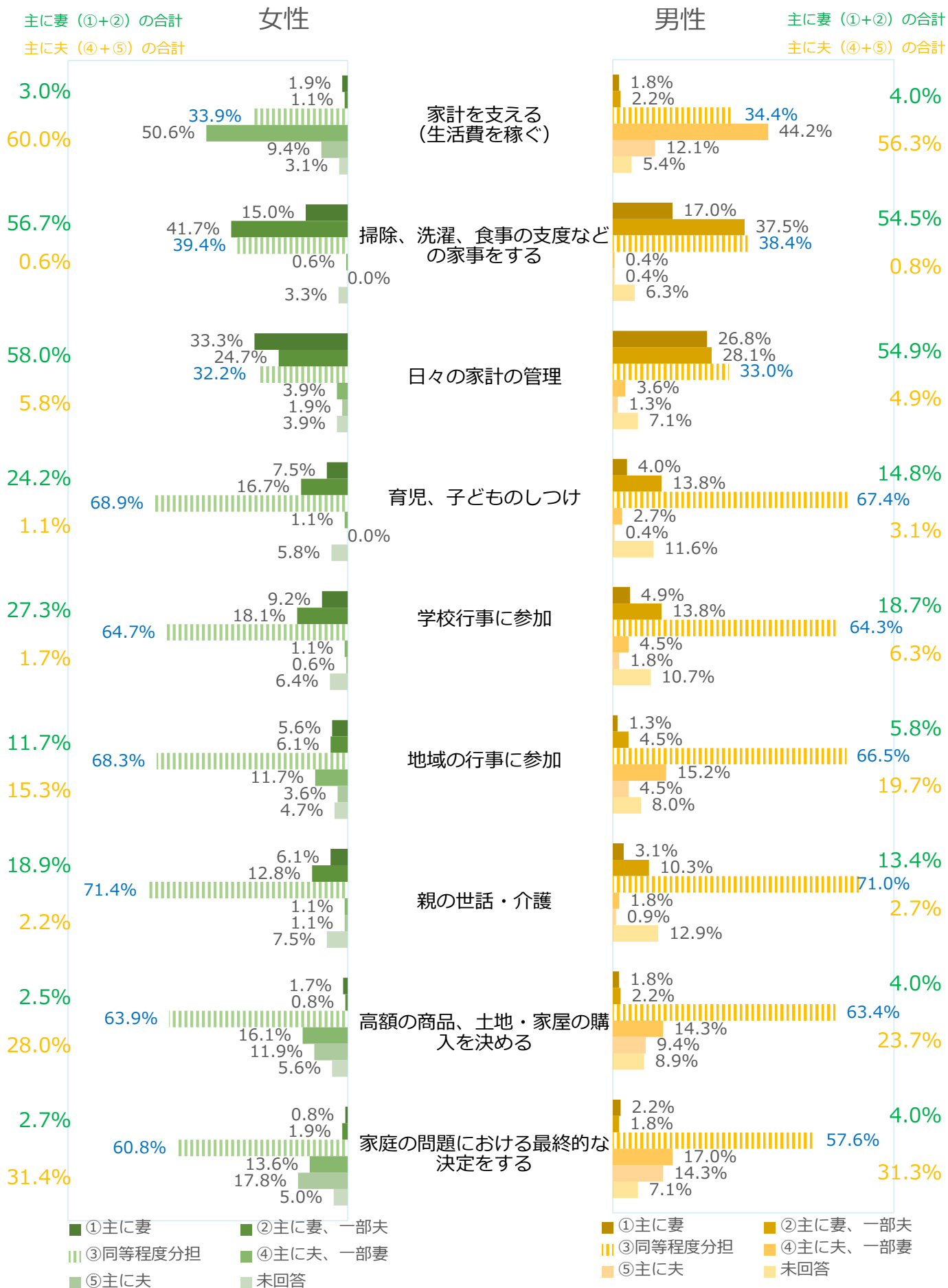


「夫」（「主に夫が行い、妻が一部負担している」及び「主に夫が行っている」）は、「家計を支える」が49.7%で、「妻」（「主に妻が行い、夫が一部負担している」及び「主に妻が行っている」）は、「掃除等家事をする」が68.7%、「日々の家計」が59.9%「学校行事」が50.1%と過半数以上を占めています。

また、「同程度分担している」の回答は「育児・子どものしつけをする」が23.5%「地域の行事に参加する」が22.3%、その他については約9~20%と「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである。」という風習は今もなお残っていることがわかります。

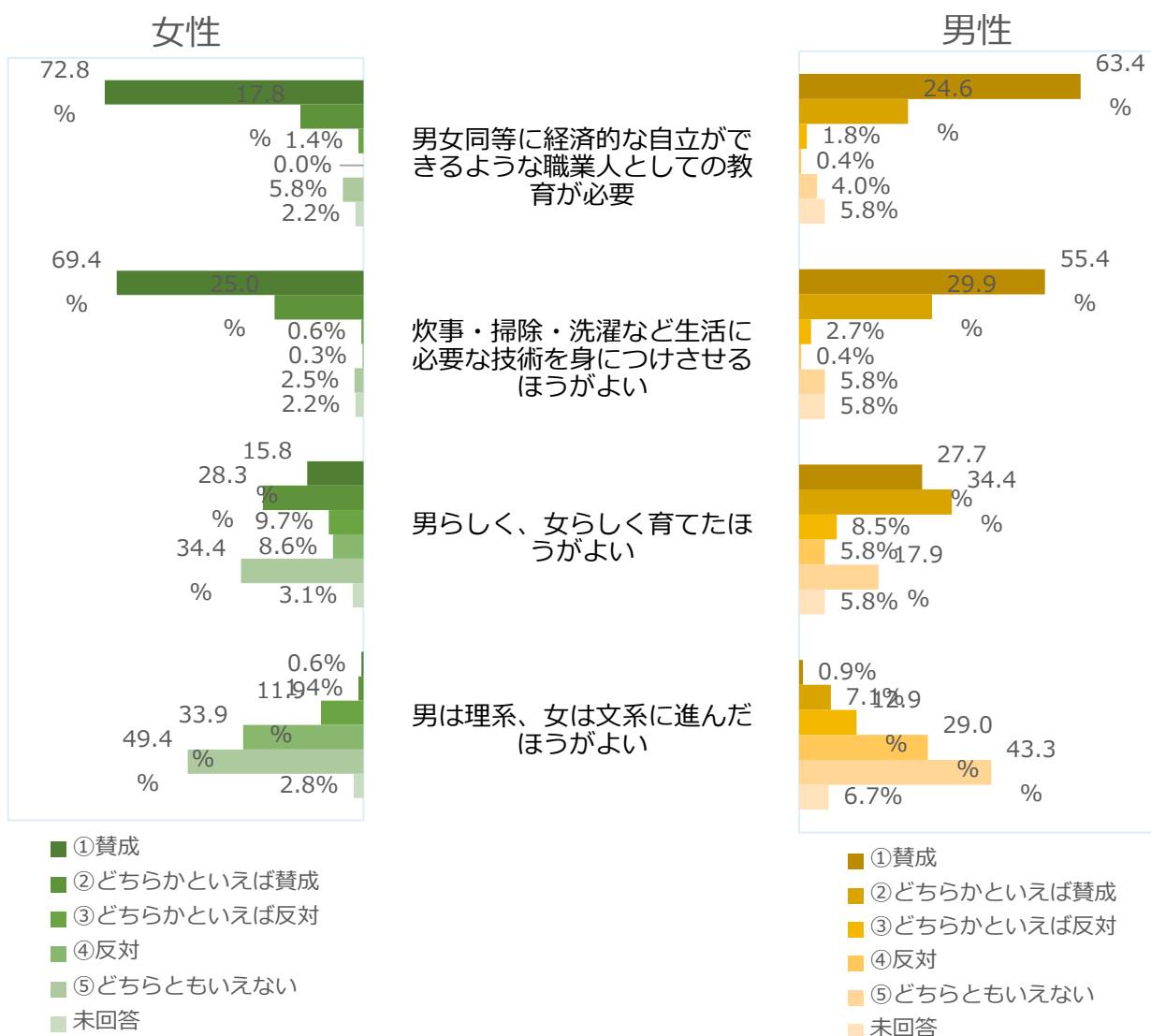
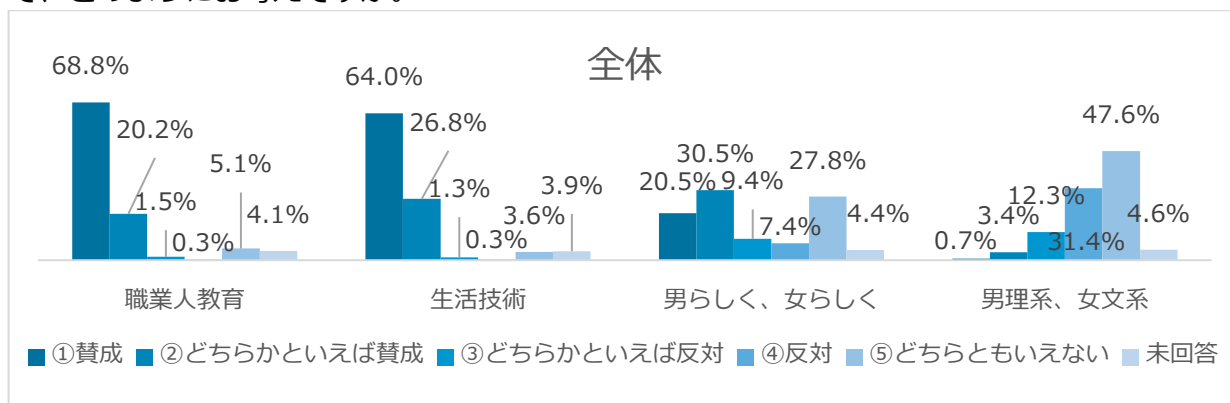
問5【理想とする家庭生活での夫婦の役割分担】 それでは、理想としては、どのように分担するのがよいとお考えですか。





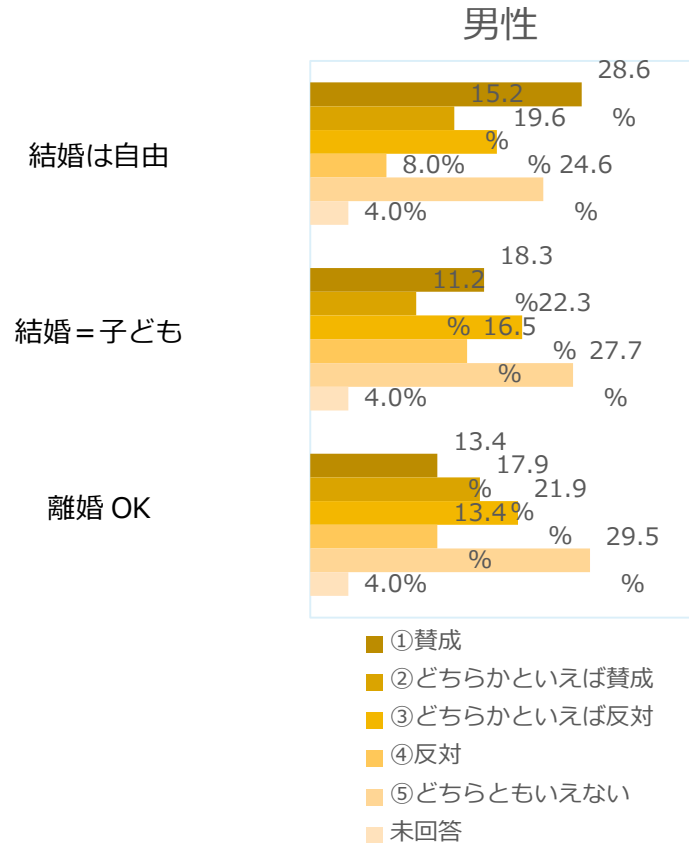
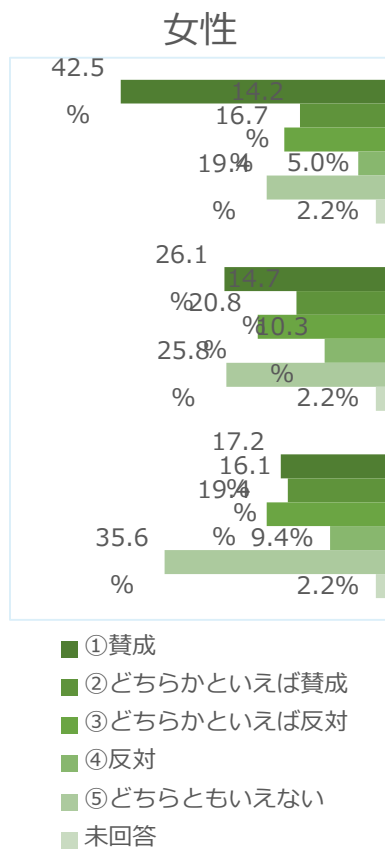
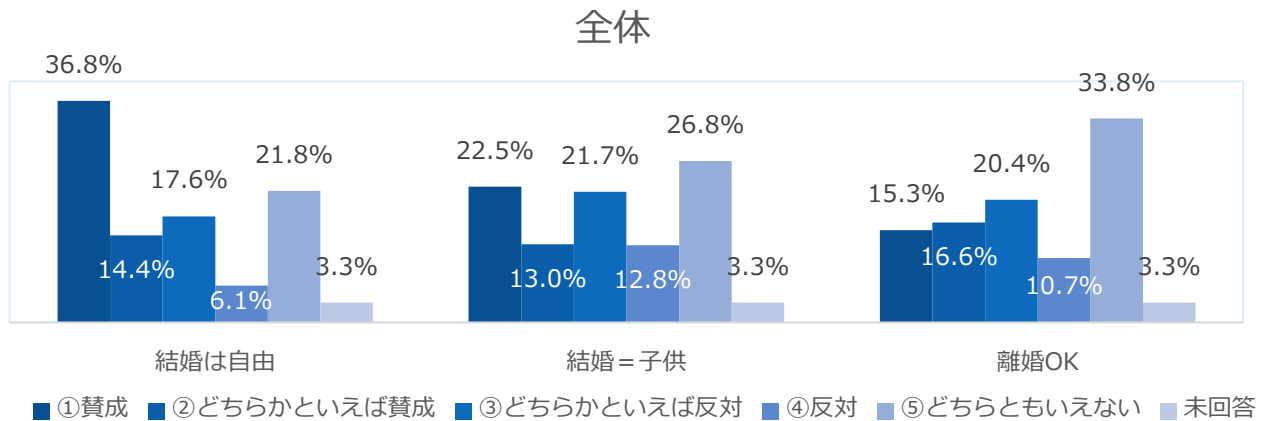
問4 現実と問5 理想の「家庭生活での夫婦の役割分担状況」を比較すると「同程度分担する」が「学校の行事に参加する」では現実が14.3%、理想が64%と理想と現実では大きな差があることがわかります。

問6【子どものしつけや教育について】あなたは次にあげるような子どものしつけや教育について、どのようにお考えですか。



全体で「男理系、女文系」という考えは43.7%が「反対」（「どちらかといえば反対」を含む。）の回答でした。「男らしく、女らしく」という考えは51%が「賛成」（「どちらかといえば賛成」を含む。）16.8%が「反対」（「どちらかといえば反対」を含む。）の回答で、「男らしく、女らしく」という考えが強いことがわかります。「生活技術」「職業人教育」のしつけや教育という考えは約90%が「賛成」（「どちらかといえば賛成」を含む。）の回答でした。

問7【結婚・家庭観】結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をお伺いします。次にあげるような考え方について、どのようにお考えですか。

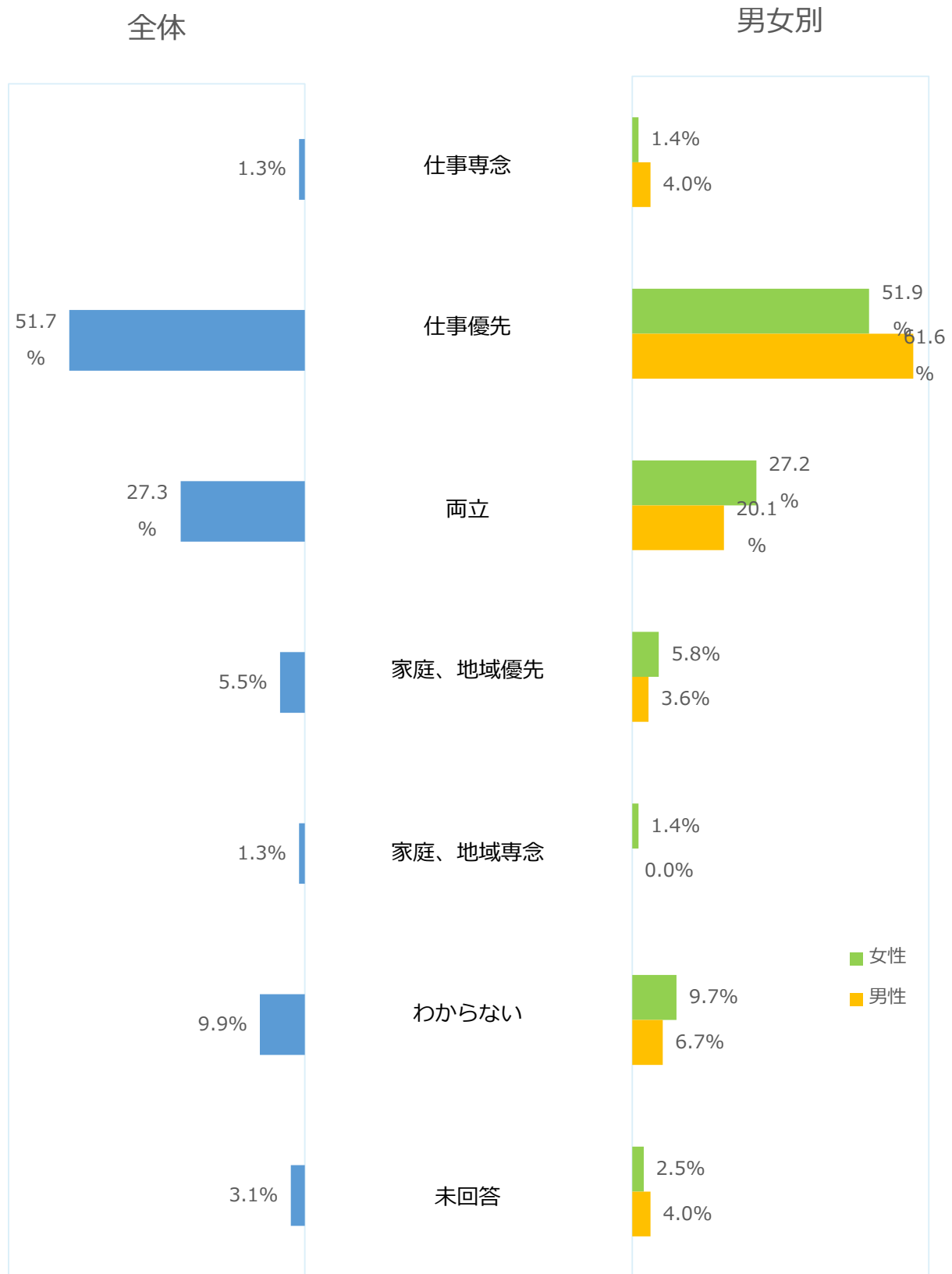


「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」は、「賛成」（「どちらかという」と賛成を含む。）、「反対」（「どちらかという」と反対を含む。）、「どちらともいえない」とも約30%と意見が分かれました。「結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもどちらでもよい」については、「賛成」（「どちらかという」と賛成を含む。）が過半数を占めています。

男女別では、女性は40.8%が「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」に「賛成」（「どちらかという」と賛成を含む。）と考えている人が多いようです。

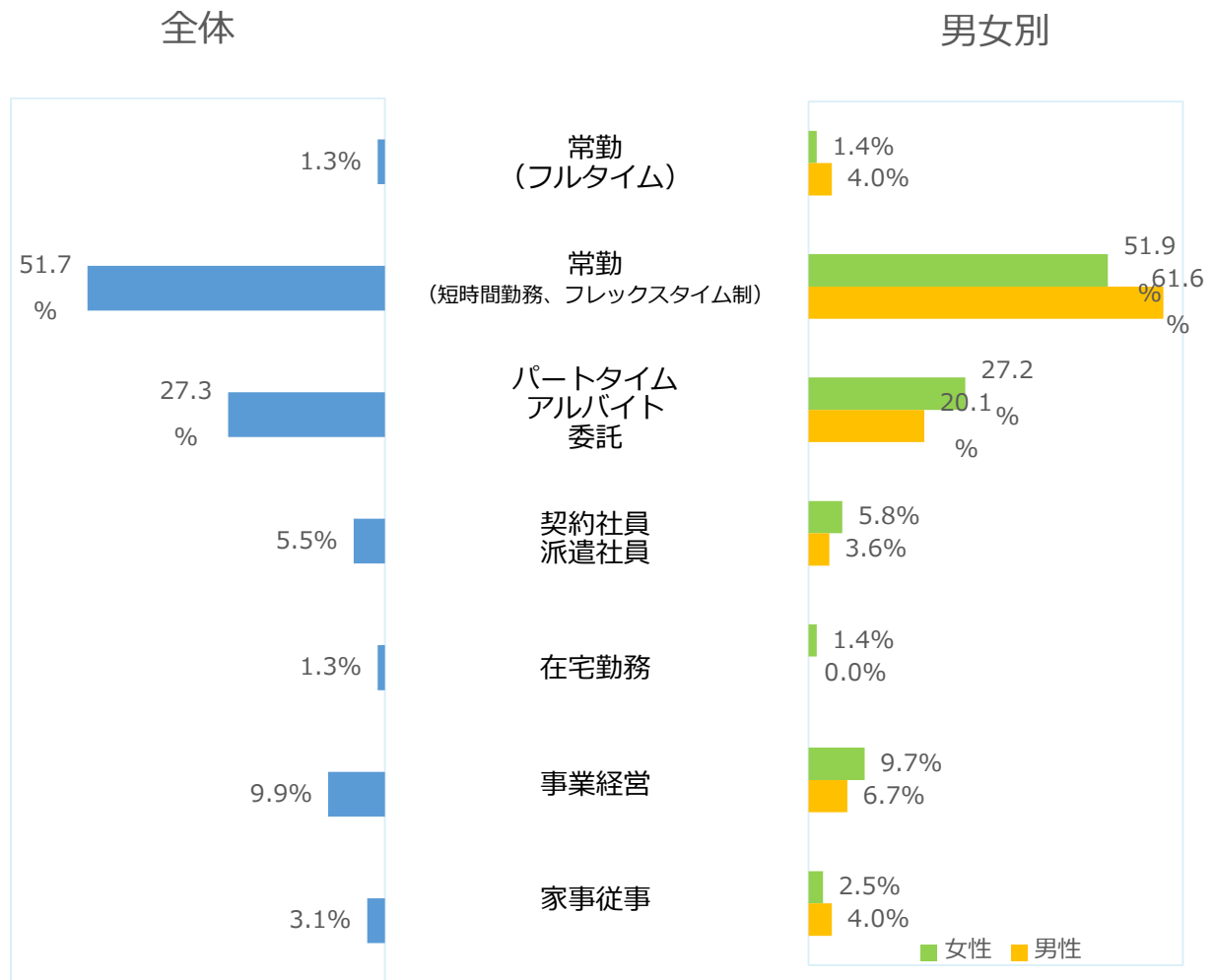
Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問8【仕事と生活のバランスの希望】結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をお伺いします。次にあげるような考え方について、どのようにお考えですか。



「家庭生活や地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる」が55.7%で、男女別で見ても、男性61.6%、女性51.9%とあくまでも仕事優先の考えが多いようです。

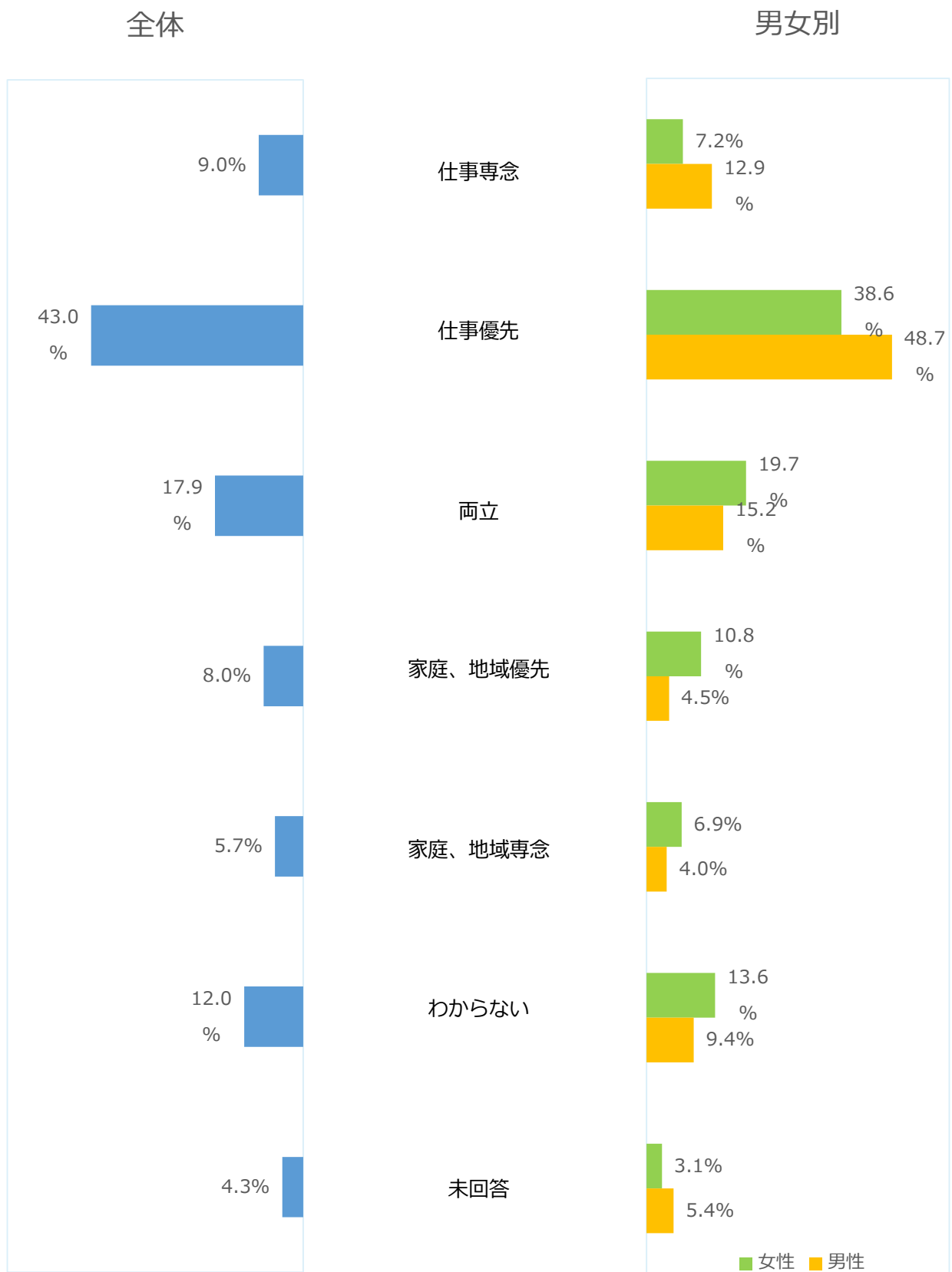
問9 【仕事の形態希望】 あなたはどのような形で働きたいですか（○を1つだけ）。



「常勤（フルタイム）」が42.1%を占めています。男女別で見ると、男性は55.4%、女性は33.9%で男性が女性より21.5%以上「常勤（フルタイム）」を希望しています。

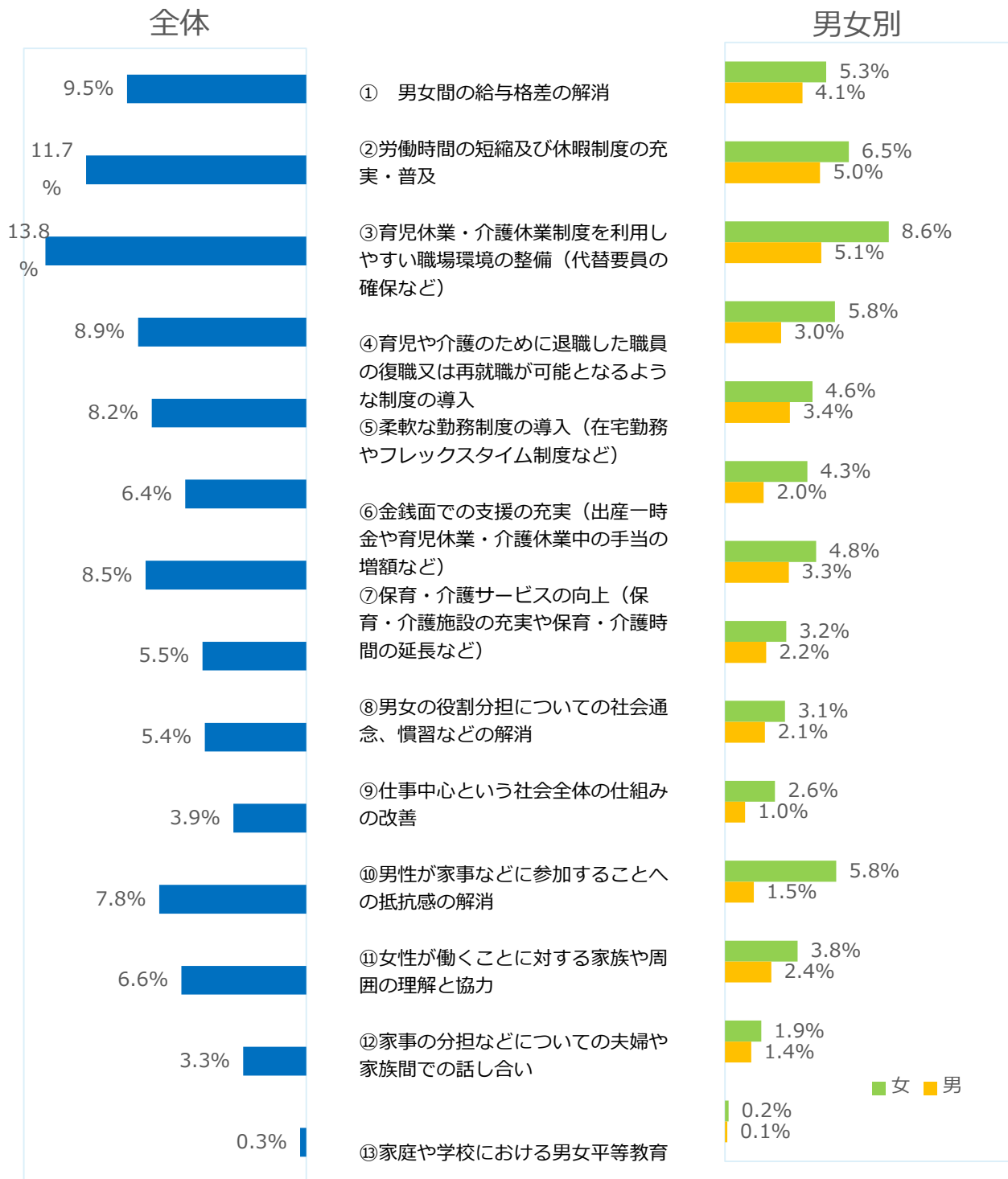
女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢による ・年金生活でパートを少々 ・年金生活者 ・年金暮らし ・年齢制限 ・農業 ・70才近くまで夫と同様働きました ・年齢的に ・年齢 ・70歳以上 ・働きたいが年齢的に無理 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きたくない ・農家自由 ・障害者 ・妻の収入で遊んで暮らしたい ・病気 ・病気のため働くつもりはない ・年金生活

問10【仕事と生活のバランスの現状】あなたはどのような形で働きたいですか（○を1つだけ）。



「問8 理想（希望する）」と「問10 現状の『家庭生活や地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる』を比較すると理想（希望する）」は55.7%、現実には42.5%と理想（希望する）と現実では大きな差があることがわかります。

問 1 1 【仕事と生活の調和のために必要なこと】一般に男女が共に仕事と家庭生活や地域活動の両立を可能とするためには、どのようなことが必要だと思いますか（〇は3つまで）。



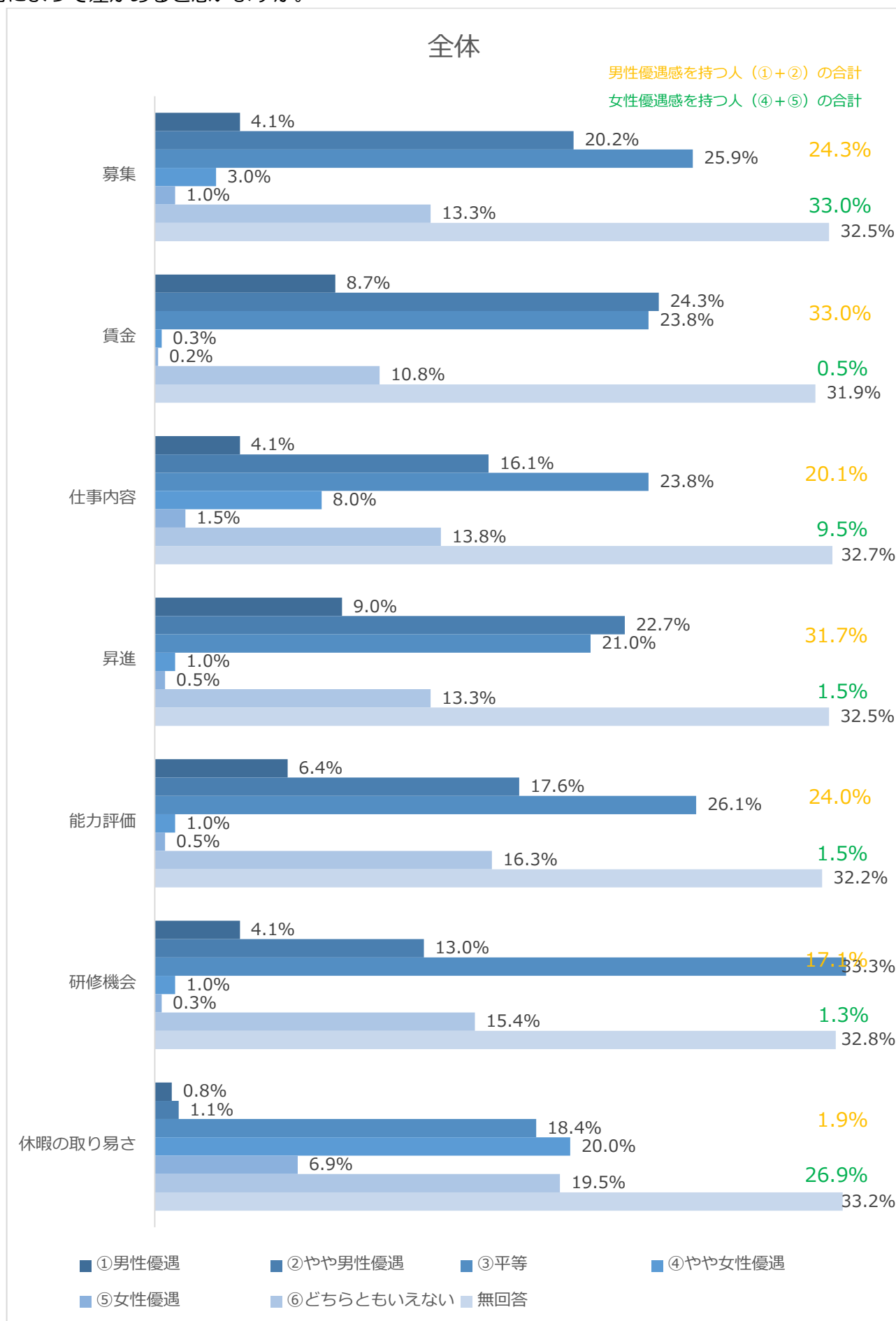
全体を見ると、必要と思う順に「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備（代替要員の確保など）」「労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及」「給与等の男女格差の解消」となっています。

性別で見ると、男性は全体と同じ順の回答で、女性は3番目が「育児や介護のために退職した職員の復職又は再就職が可能となるような制度の導入」を必要と感じています。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・一日中店番のかたわら家事 ・会社経営者、自営業の人は休みを取れない。休むと収入が入らないので休めない。 ・全て必要！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気があっても体調により活動内容を工夫する ・法律の改正等

IV 就業について

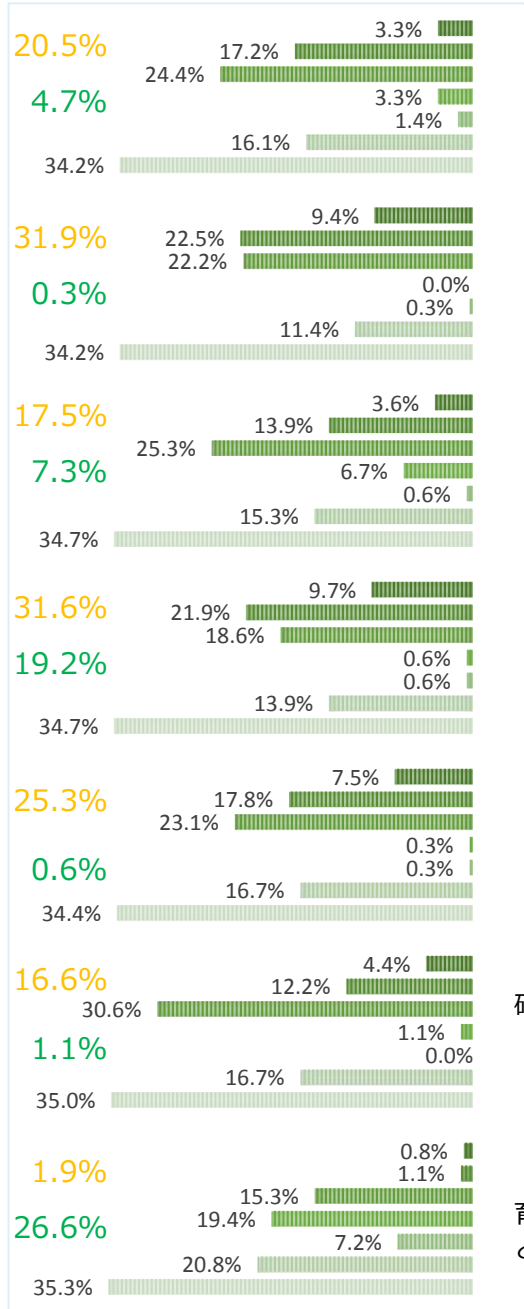
問12【あなたの働く環境での男女差】あなたの働く環境では、次にあげるような分野で、性別によって差があると思いますか。



男性優遇感を持つ人 (①+②) の合計

女性優遇感を持つ人 (④+⑤) の合計

女性

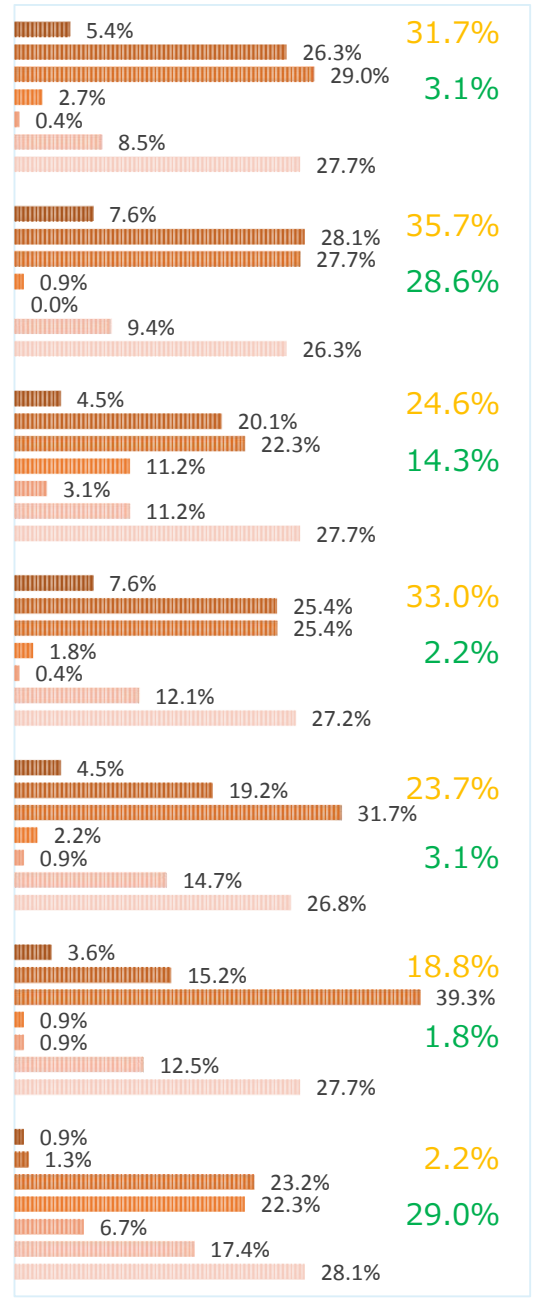


- ①男性優遇
- ②やや男性優遇
- ③平等
- ④やや女性優遇
- ⑤女性優遇
- ⑥どちらともいえない
- 無回答

男性優遇感を持つ人 (①+②) の合計

女性優遇感を持つ人 (④+⑤) の合計

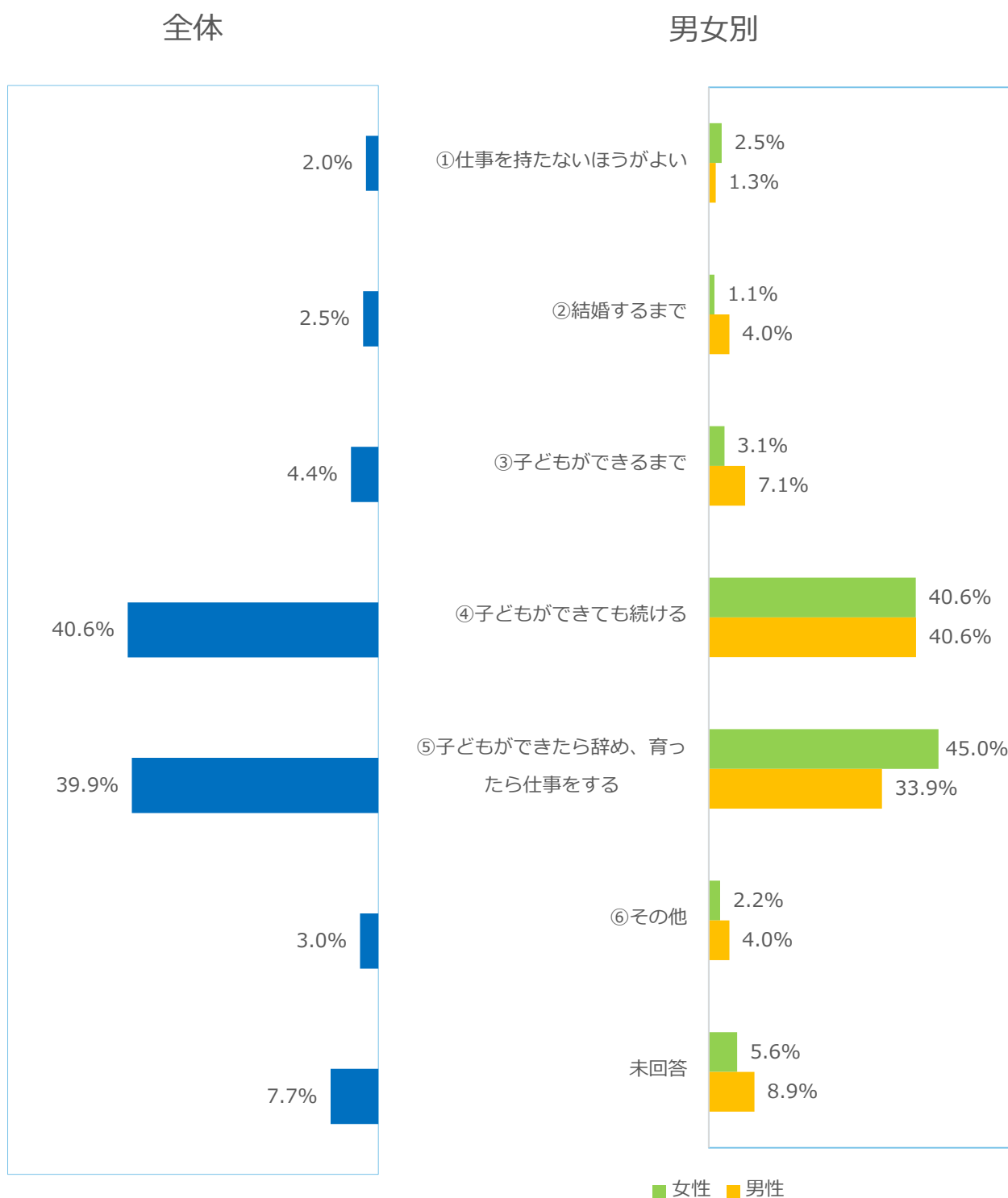
男性



- ①男性優遇
- ②やや男性優遇
- ③平等
- ④やや女性優遇
- ⑤女性優遇
- ⑥どちらともいえない
- 無回答

「女性」(「女性の方が非常に優遇されている」及び「どちらかといえば女性の方が優遇されている」)は「休暇の取り易さ」が27.5%を占めており、性別でみると男性29%女性26.6%が性別によって差があると思っているようです。また、「男性」(「男性の方が非常に優遇されている」及び「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)が「賃金」が33.4%「昇進・昇給」が32.2%を占めており、性別でみても31.6~35.7%が「男性」(「男性の方が非常に優遇されている」及び「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)です。

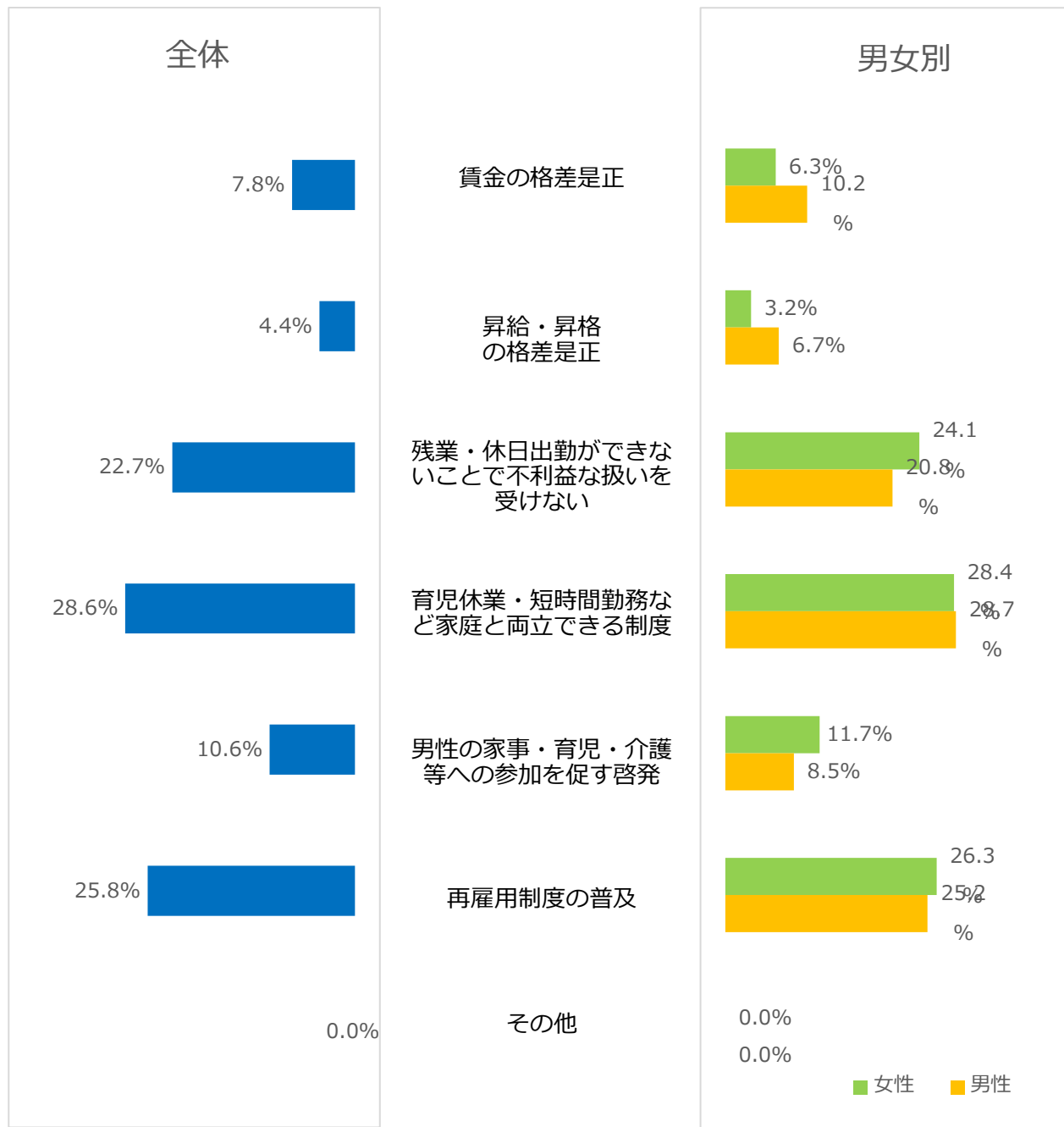
問13【女性の就業についての意識】一般的に女性の就業について、あなたはどのような考えをお持ちですか（○は1つだけ）。



「子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい」「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい」と考えている方が男性、女性共に40%以上を占めています。

女性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ その家庭によると思う ・ 実際仕事を続けないと生活が成立しないと思うから、続けなくても生活できるなら③ ・ これは、会社に行っている人のことばかり自家業の人は、仕事は続けなければいけない 子供が小さくても共働きで定年近くまで働いた。子供育てあげるには共に収入なくては生活ができない。 ・ ①～⑤どれを選んでもOK！ ・ 本人の希望どおりにできるのが一番いい。働きたかったら働けばいいし、育児に専念したければすればいいし、途中で仕事をやめても復帰したければできる。希望どおりにできるのがよし。ただ仕事をして社会とかかわるのは大変だと思う。 ・ 仕事をしたい人はして、したくない人はしなくてもいいと思います。 ・ 結婚しても子供ができて働きたいと思う人はずっと仕事をすればいい ・ 子どもができたら充実した育児休暇をとり、時間や間11の⑤のような働き方で心に余裕をもった子育てができるようにし、大きくなったら再びフルタイム等の仕事に戻る ・ やめずに働きつづけられる方法 ・ 子ども産む為の支援の充実、学費などが高ければ女性でも働かざるをえない。そうなると子供を産む世帯も減る。 ・ 個々の事情に応じて ・ 女性それぞれの意思に任せればよい ・ 各自個人の事だから、どうこう他人が言える事ではない ・ 自由意識で選択ができると思います。 ・ 自由だと思う。 ・ これからは少子高齢化の世の中で大きく変わっていくでしょう。
男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ その女性の考え方にまかせます、・ 子供や家庭の状況を優先に決定、・ 本人の意志を尊重 ・ 本人の考え方による、・ 自由、・ 特になし。個人の自由にすればよい、・ 女性次第 ・ 家庭の経済状況と本人の意思による、・ 本人の意思や状況による ・ 義務教育までは仕事をやめ、その後仕事 ・ 生活環境にもよるので何ともいえない ・ 経済や家族の健康問題により、ケースバイケース。子や結婚に関係ないと思う。 ・ 個々の家庭事情に見合ったスタイルを取るべきであり、上記質問のような型に当てはめるべきではない。

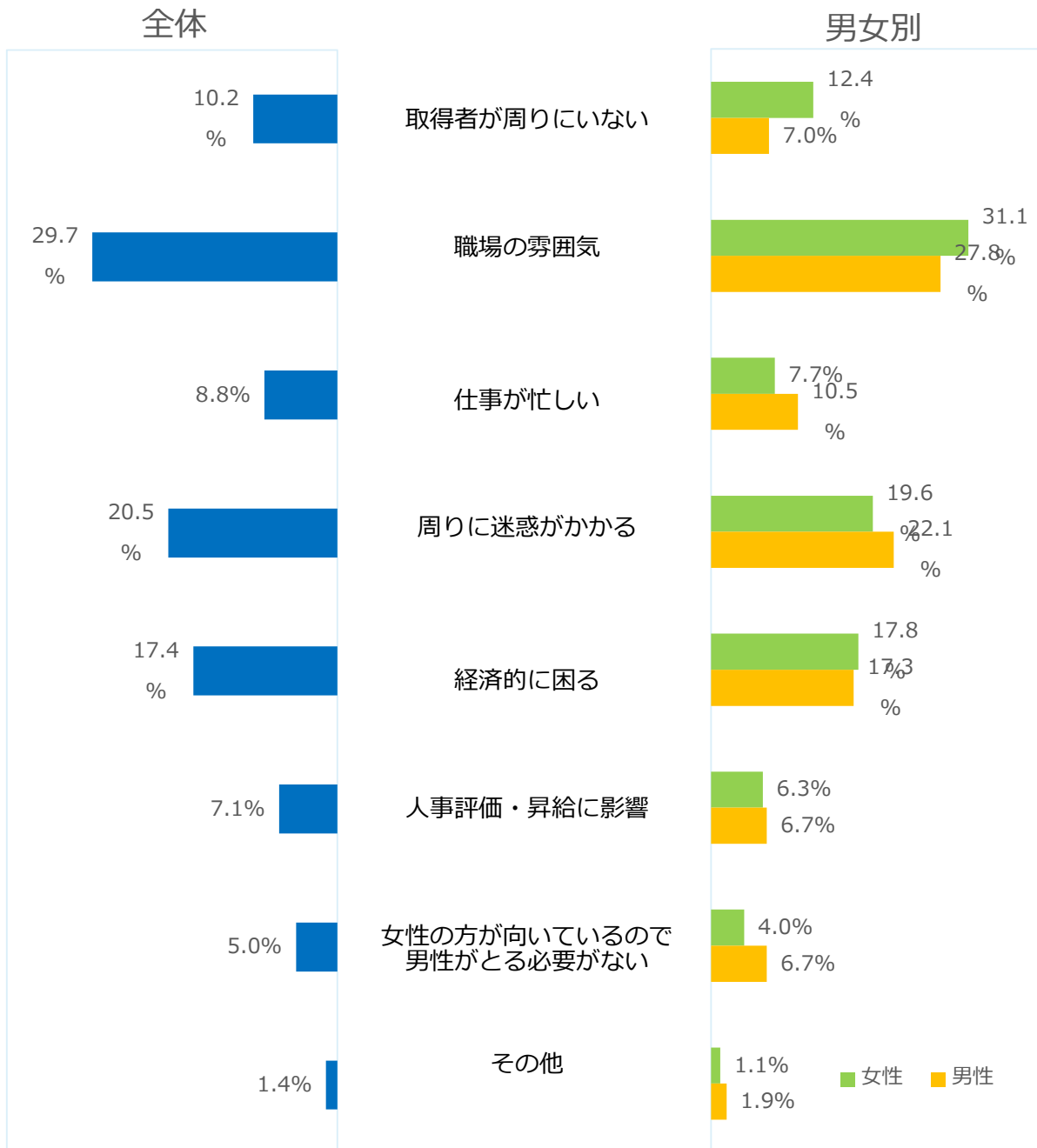
問14【女性の就業継続について】女性が結婚・出産後も職業を持ち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか（〇は3つまで）。



全体、男性、女性共「育児休業や短時間制度などの仕事と家庭の両立ができる制度を充実する」「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する」「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」の順に多い回答でした。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・出産で退職した女性は、再雇もいいけど仕事を待っている人もいる。退職したら退職だ。 ・全て必要！ ・職場の人の協力 ・34年間働いて来ました。いろいろな考え方ありますが・・・まずは自分の考え方だと思っています。 ・保育所、学童保育の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に自立が必要 ・③④⑥等の制度があっても、実際には利用しにくい職場環境の改善策を行政監督のもと立案施行させる。

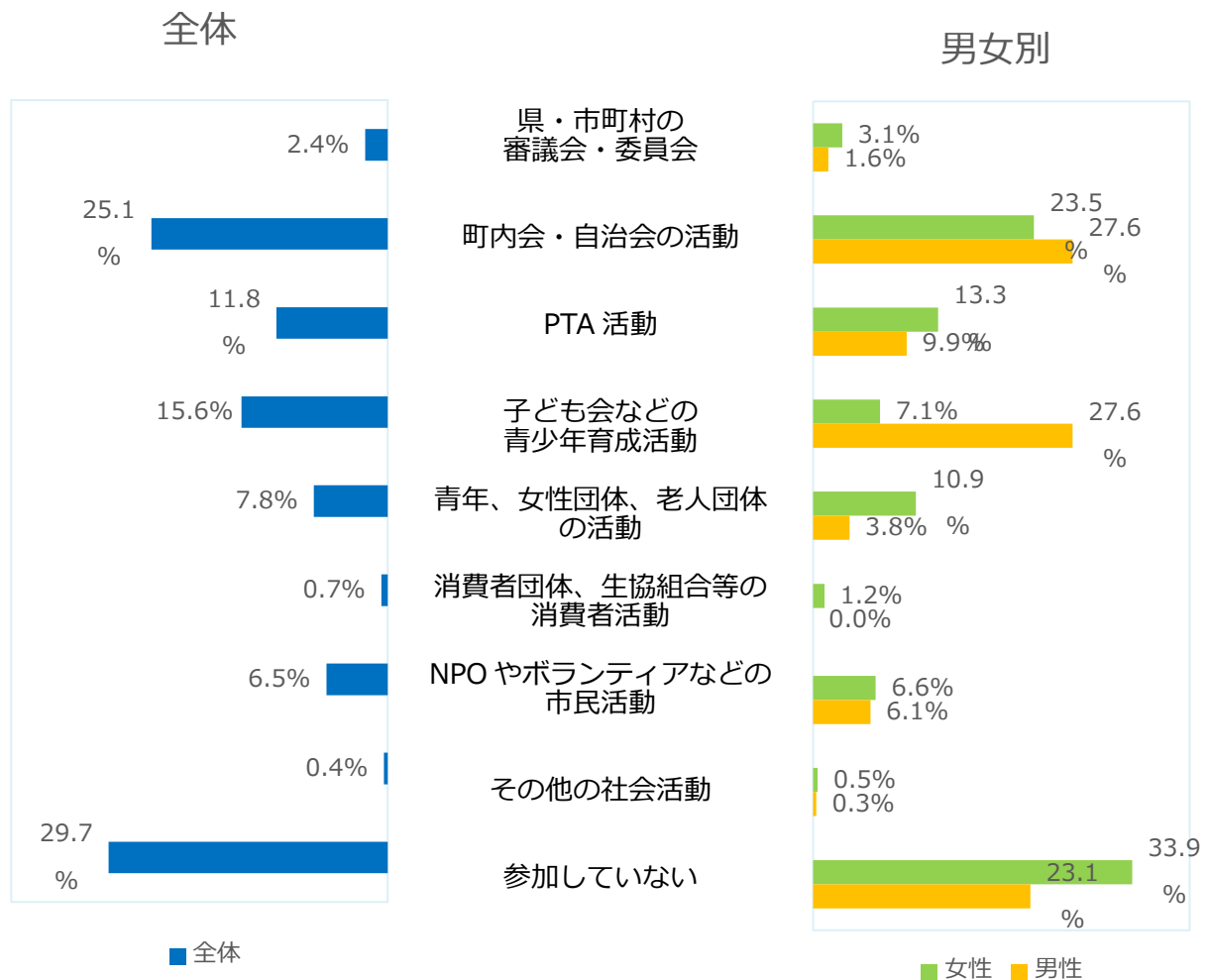
問 1 5 【男性の育児休業取得について】平成 2 6 年度の男性の育児休業取得率は 2. 6 5 % (厚生労働省：平成 2 7 年度雇用均等基本調査) と低い水準になっています。男性の育児休業取得率が低い理由は何だと思いませんか (〇は 2 つまで)。



女性意見	男性意見
夫と妻との給与の違いがあるのでは収入が減るから全てが影響している。⑦以外で若い時は、男性が育児休暇を取る事など考えてもいなかったのだからわからない育児は女性の仕事だと思っているから⑦の意識が世間的に根強いから自営業にそんなものない (出来ない)	自身に育休するという意識が足りてないから 男性側に男女共業の意識が低い 男性が担えないことが多い わかりません ○ 農業ではむり 上司に古風な考えを持ち、頭が固い人が多いから

V 地域活動について

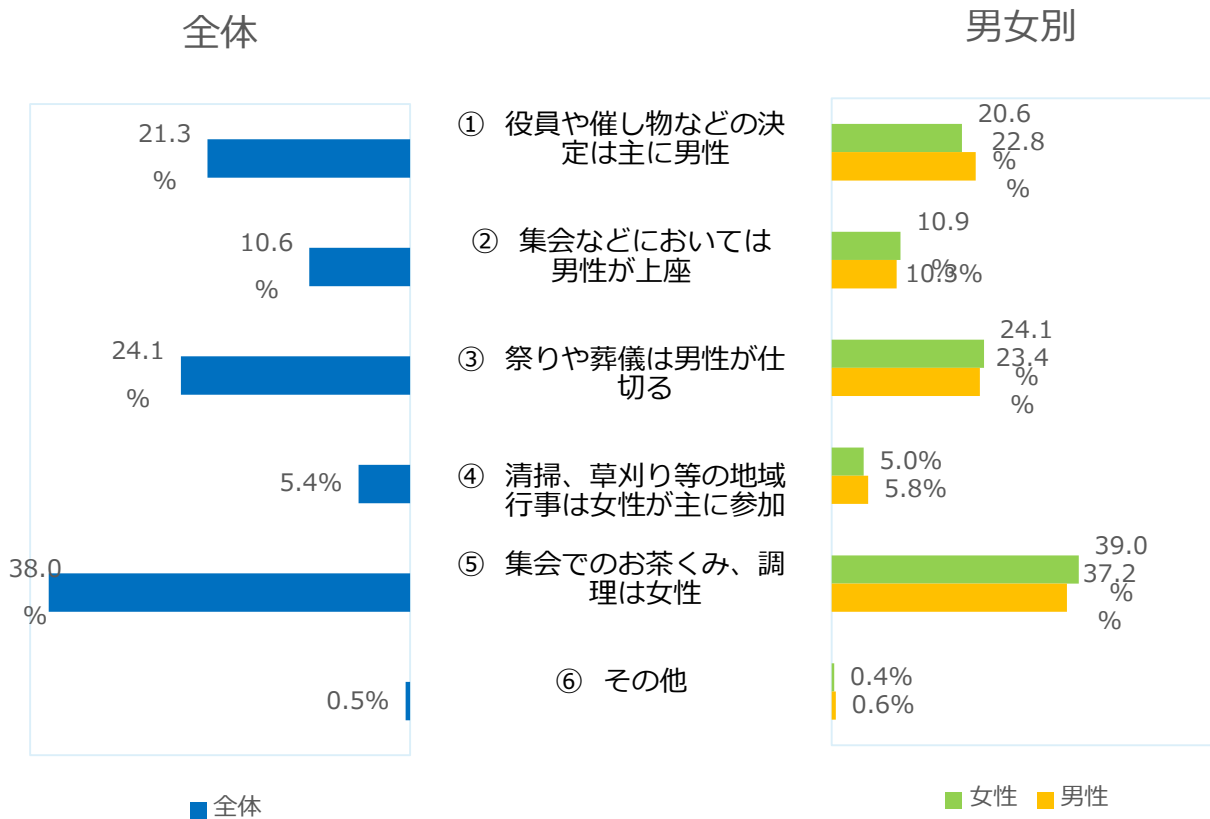
問16 【地域活動への参加】あなたは次のような活動をしていますか（〇はいくつでも）。



全体では「参加していない」が31.6%、と最も多い回答でしたが、活動内容は「町内会・自治会等の活動」「PTA活動」「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」と多くの活動を行っているようです。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地域（区）の高齢者への支援、送迎、見守り ・過去は③①あり ・読み聞かせ、演劇 ・お寺 ・参加したいと思うけど、身体に自信がないから ・体が健康でないから ・今は振興班の後など ・地域の婦人会 	<ul style="list-style-type: none"> ・聖者の教育活動 ・JA総代 ・共同募金、献血 ・多面的機能 ・以前していた ・身障者団体 ・お寺のいろいろな行事

問 1 7 【地域社会での慣習等】 あなたの地域では次のようなことがありますか（〇はいくつでも）。

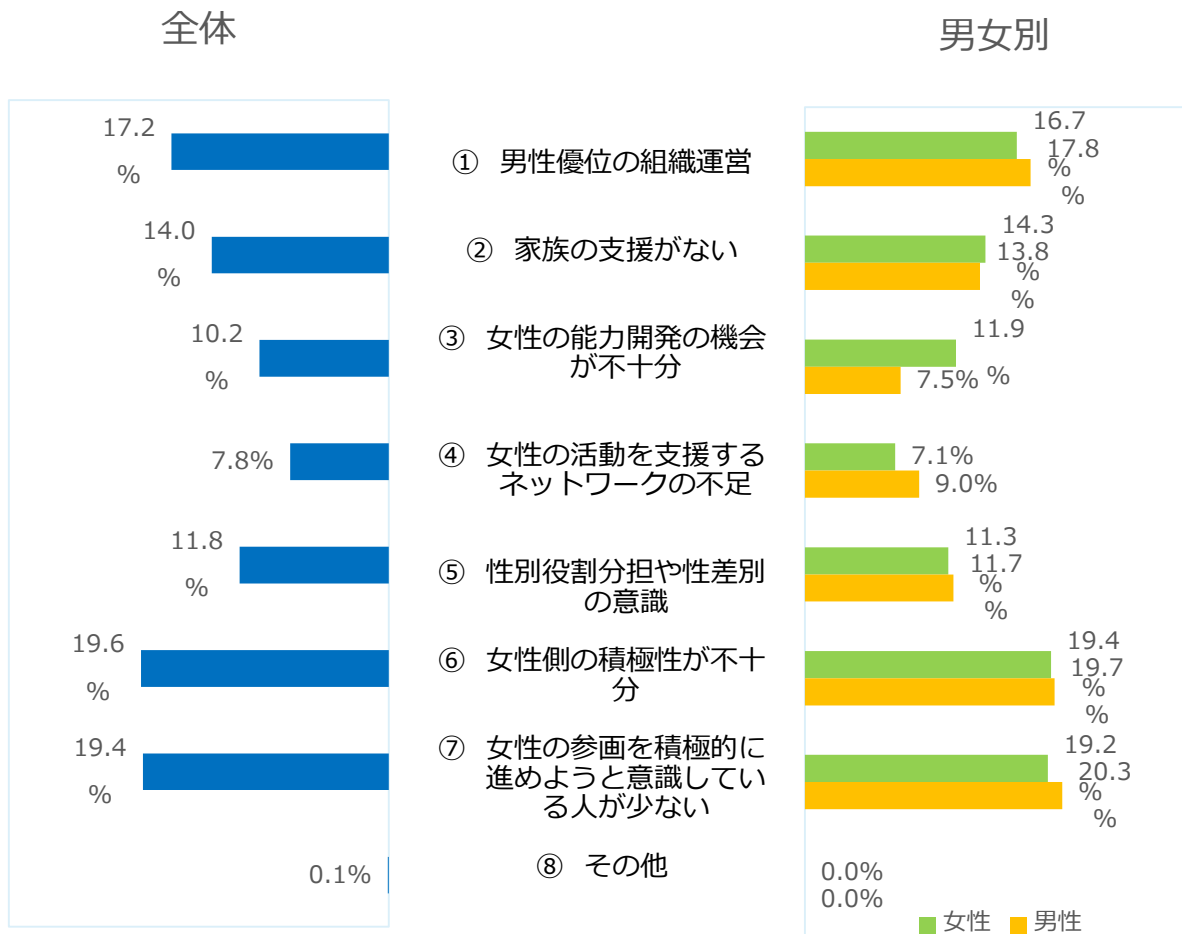


「集会でのお茶くみ、調理等は女性がする」が36.3%、「祭りや葬儀などは男性が取り仕切る」が23%、「役員や催し物の企画などの決定は主に男性がする」が20.3%と昔の風習が今も残っていることがわかります。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・男女は決定してなく出席できる人がでる ・④は男性が主です ・なし ・夫が行く ・葬儀などは班長が仕切る ・特にない（2件） ・わからない（6件） ・参加したことないのでわからない（6件） ・PTA 活動は主に女性が多い ・当番になった男女が行う ・祭事は、女性の負担が大きい ・個人に近い関係なので特に関係ありません ・自分でないといないから ・右むけ右 ・みな平等でやっていると思う ・こういった慣習が当たり前なので、地域には入らない！ ・班長さんが役員さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報がなくわからない ・設問1～5で女性も意見を出し尊重される ・男だから力仕事はして当たり前だと女性はよく言う ・班長を中心に行事を行う ・不明 ・障害者 ・わかりません、・わからない ・男女の関係なくみんな平等 ・まだ異動したばかりで分かりません ・草刈について、女性はあまり働かないのでそんでいる。 ・会議等への女性参加が少ない ・参加したことがないためわからない。 ・役員にゆだねる ・平等に思う

VI 政策決定への参画について

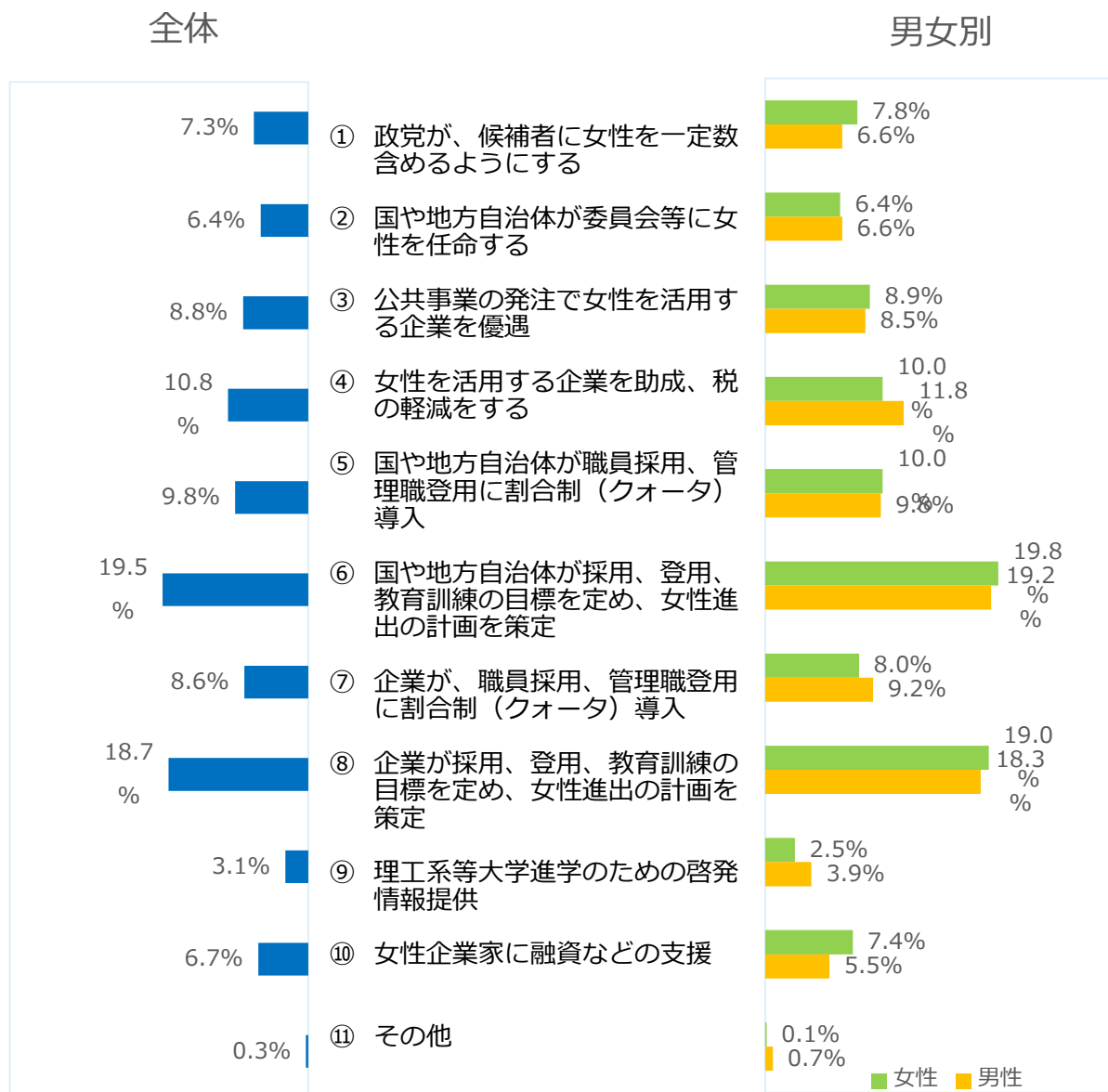
問18【政策の企画・方針決定に関する意識】近年、女性の社会進出は進みつつあるものの、自治公民館長、議員等にはまだ女性が少ないのが現状です。このような政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか（○は3つ）。



一番多い理由が「女性の側の積極性が十分でない」で19.4%、次に「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」19.2%、「男性優位の組織運営」17%となっています。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢によるものでは（若い方達は女性の出席も多いのでは） ・仕事や家庭（特に家庭での女性負担が大きすぎる。日本の女性は忙しすぎる。海外と比べて）の場で、することが多すぎてそこまできかない ・年を取って来ると体の具合が悪いから ・当然と思っている人が多いと思います。 ・嫁に来ているから、嫁の身分ではしづらい ・女性はなりたがらない人が多いから ・子どもが小さい時は、積極的参加はなかなかだと思う ・本人がしたくない ・家庭との両立が難しいのではないかと 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性はリーダーシップを取るよりもサポート面での能力があるのでは ・世帯主が男性だから ・飲み方が多からでは!! ・慣習 ・③④⑥の統合的問題

問19【女性の社会進出のために必要な措置】女性があまり進出していない分野に女性の進出を進めていくために、どのような措置をとるのがよいと思いますか（〇は3つ）。



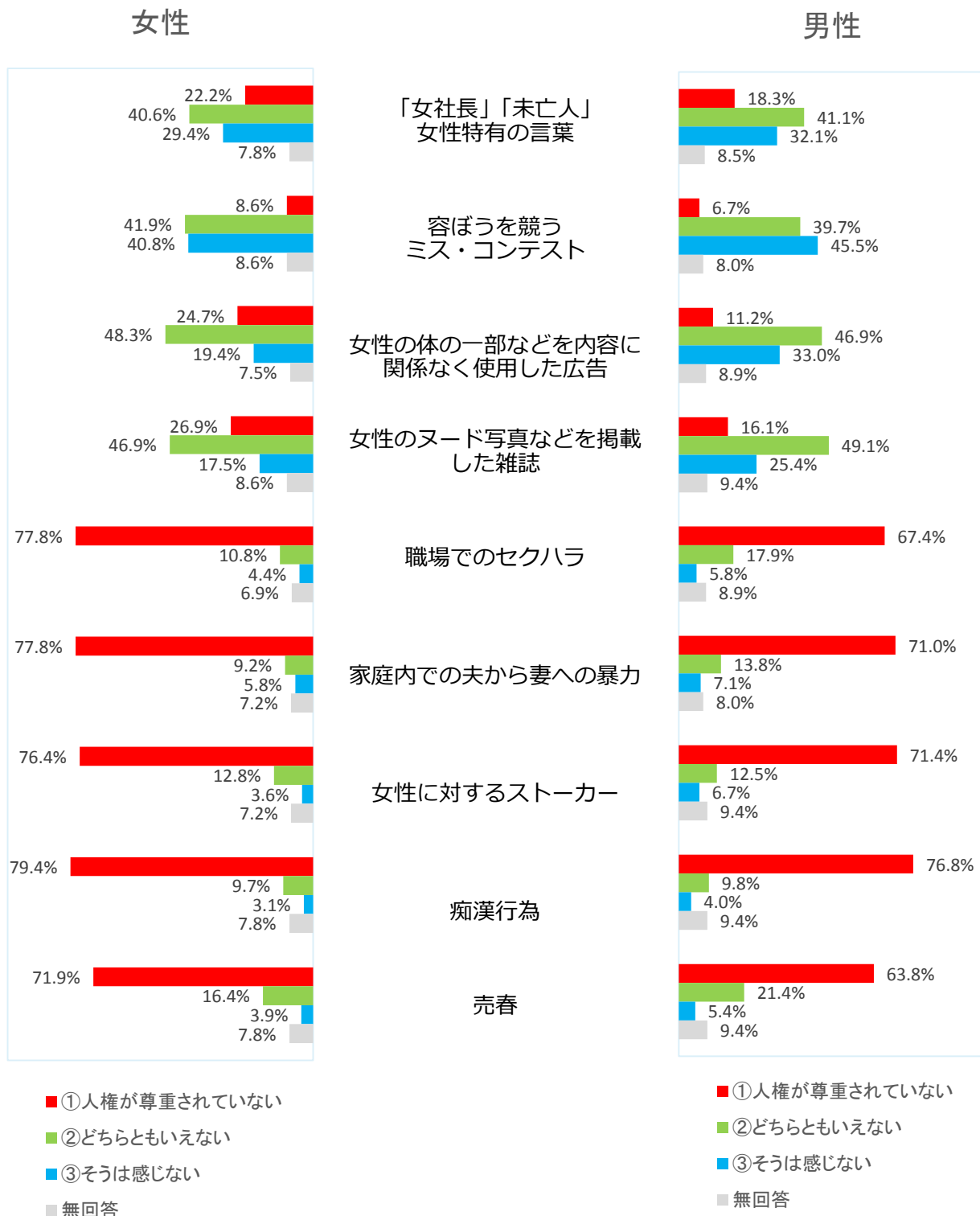
「国や地方自治体が、女性職員の採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性職員の進出を促す計画を策定する」が19.2%「企業などが自主的に、女性社員の採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性社員の進出を促す計画を策定する」が18.4%と最も高くなっています。

男女別で見ても同じ考えです。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢の男性が多い分野が、女性進出できない分野だと思います。明確に辞める年齢を決め、男性より女性を採用するようにするなど ・ 女性自身の意識を変える教育（消極的な人への） ・ わからない（2件） ・ 措置を取るより意識改革が先。 ・ 割合で任命や支援をするのはおかしい。有望であれば男女の区別は必要ない。 ・ 優秀な女性をまず作ること ・ 全て必要なかもしれませんが、正直色んなことを変える必要がありすぎていやになります ・ 今の時代、男らしさ女らしさが関係なくなっているのでは、将来自然に男女平等的になるのでは？ ・ 女性が活躍できる社会へ向けての法律の整備 ・ 子どもの年齢によって勤務時間をずらし、帰りの時間も普通の方より1時間早く退社とか、優遇してあげれる支援というか、制度が必要なのかな・・・と思います ・ 数だけで帳じりを合わせるのは反対。大事なのは各自（男女の別なし）の意欲。それが受け入れられる社会づくりが大切だと思う。 ・ 性別ではなく能力を見極める ・ やる気のある女性を優先する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的なしに女性の意識を向上させる。啓発活動を行う。（目的は必要ないと思います。それだと、ただ女性がいればいいだけになるかと） ・ 女性側が積極的にアピールする ・ 社会進出に対する女性自身の自覚と能力アップ ・ 女性のやる気ひとつと思う。 ・ クォータには反対 ・ やる気があれば女性でも仕事はできる ・ 進出しようと思えば良いのでは ・ 取組み自体が遅れており、そのような例や女性進出が珍しくないという新しい慣習が根付くよう地道に継続した取組みを意識する。 ・ 分からない

Ⅶ 男女の人権への配慮について

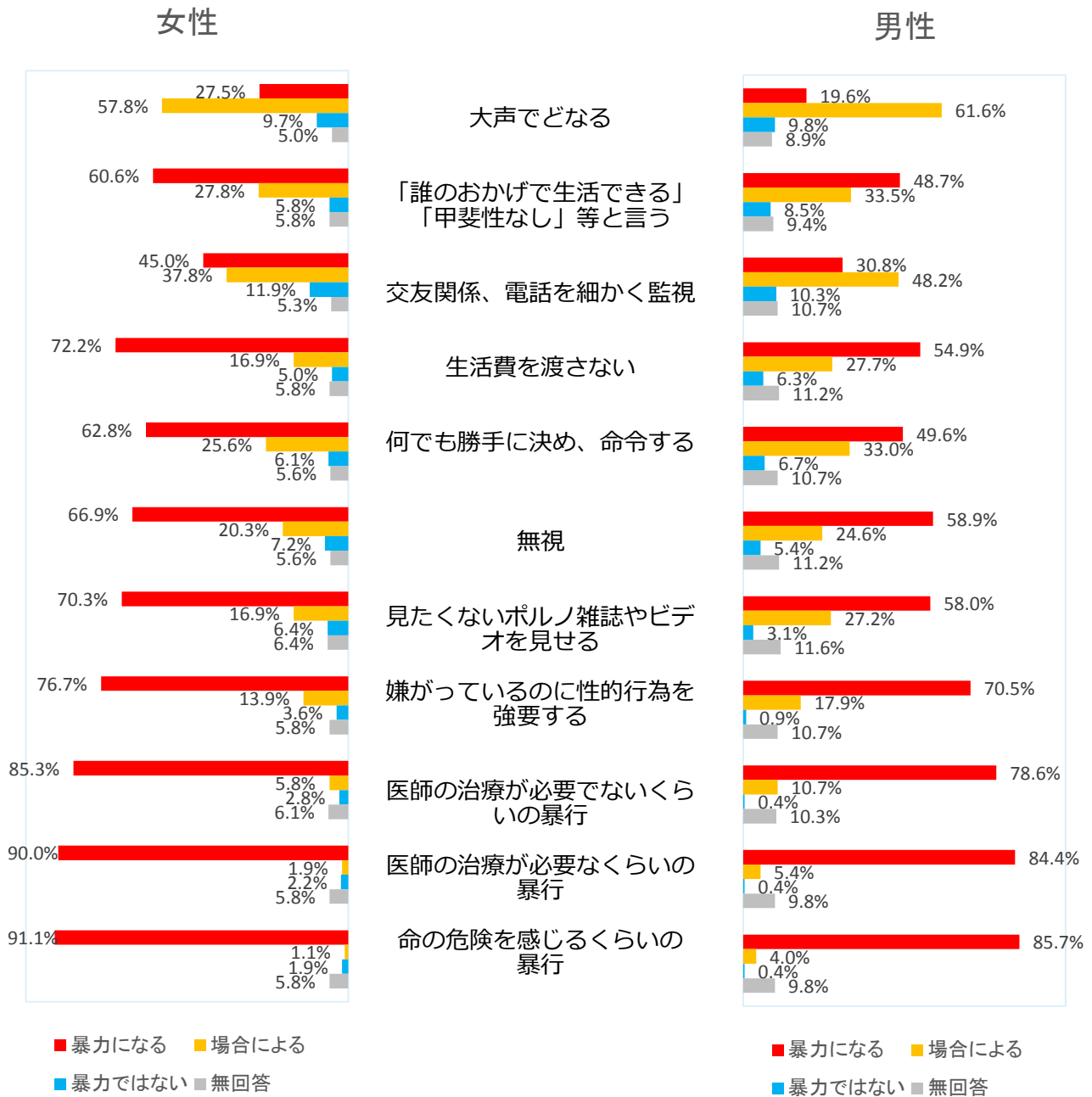
問20【女性の人権についての意識】あなたは次の事柄について、女性の人権が尊重されていないと感じますか。



「職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」「家庭内での夫から妻への暴力（酒に酔ってなぐるなど）」「女性に対するストーカー（つきまとい行為）」「痴漢行為」「買春」は「人権が尊重されていないと感じる」が約7割から8割を占めています。

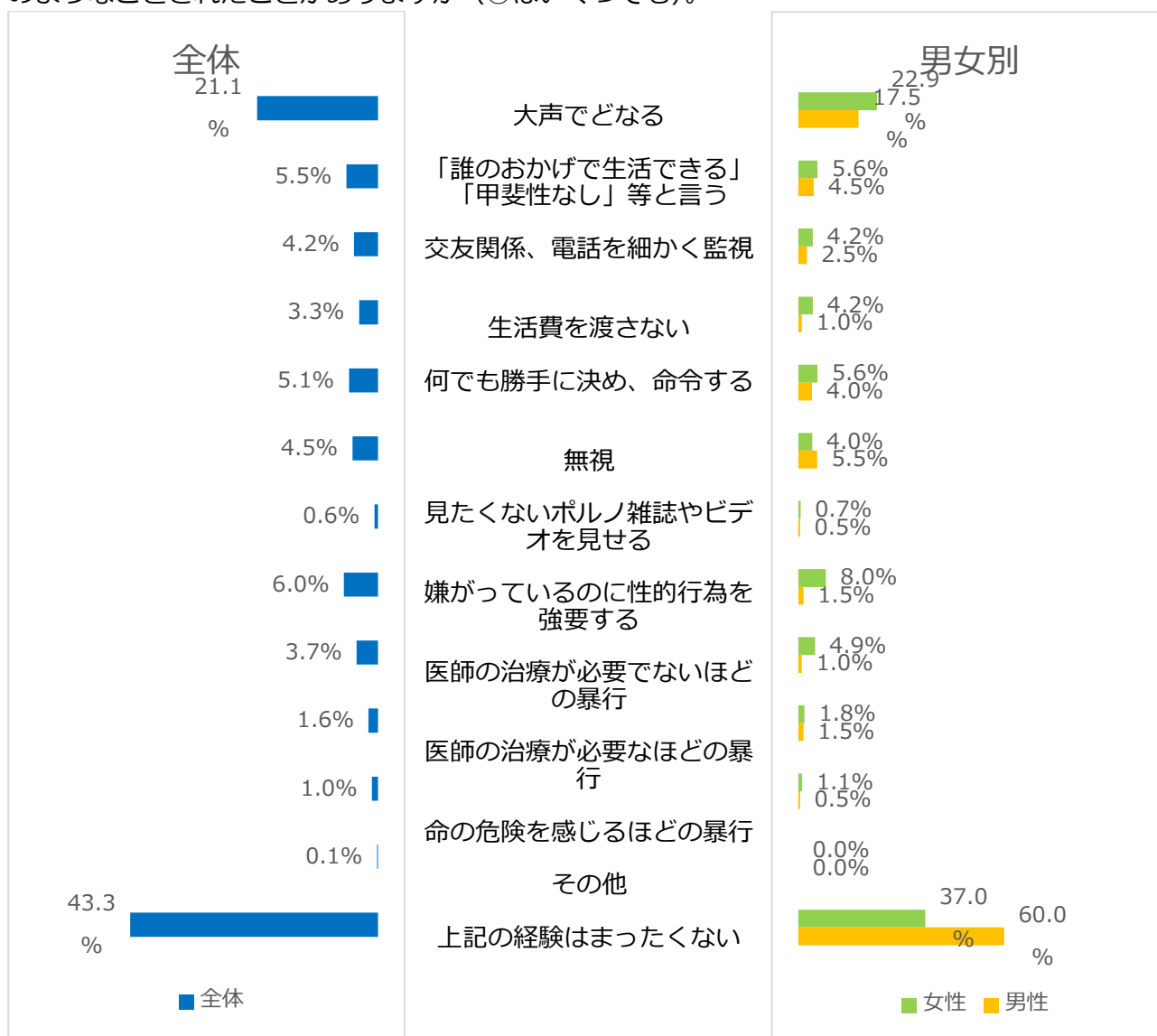
対して、「女社長・未亡人のように女性にだけ用いられる言葉」「女性の容ぼうを競うミス・コンテスト」「女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を内容に関係なく使用した広告など」「女性のヌード写真などを掲載した雑誌」は約4割から5割が「どちらともいえない」と感じているようです。

問 2 1 【配偶者や恋人からの暴力に対する意識】あなたは、あなたの夫や妻又は恋人から、次のようなことをされた場合、それを暴力だと思いますか（○はそれぞれ1つずつ）。



「どんな場合も暴力にあたると思う」「暴力の場合とそうでない場合がある」の合計は全て8割を超えており、その中でも「暴行超強・強・弱」に続き「性行為強要」「生活費渡さない」がどんな場合も暴力にあたると思っているようです。

問 2 2 【配偶者や恋人からの暴力を受けた経験】あなたは、あなたの夫や妻又は恋人から、次のようなことされたことがありますか（○はいくつでも）。

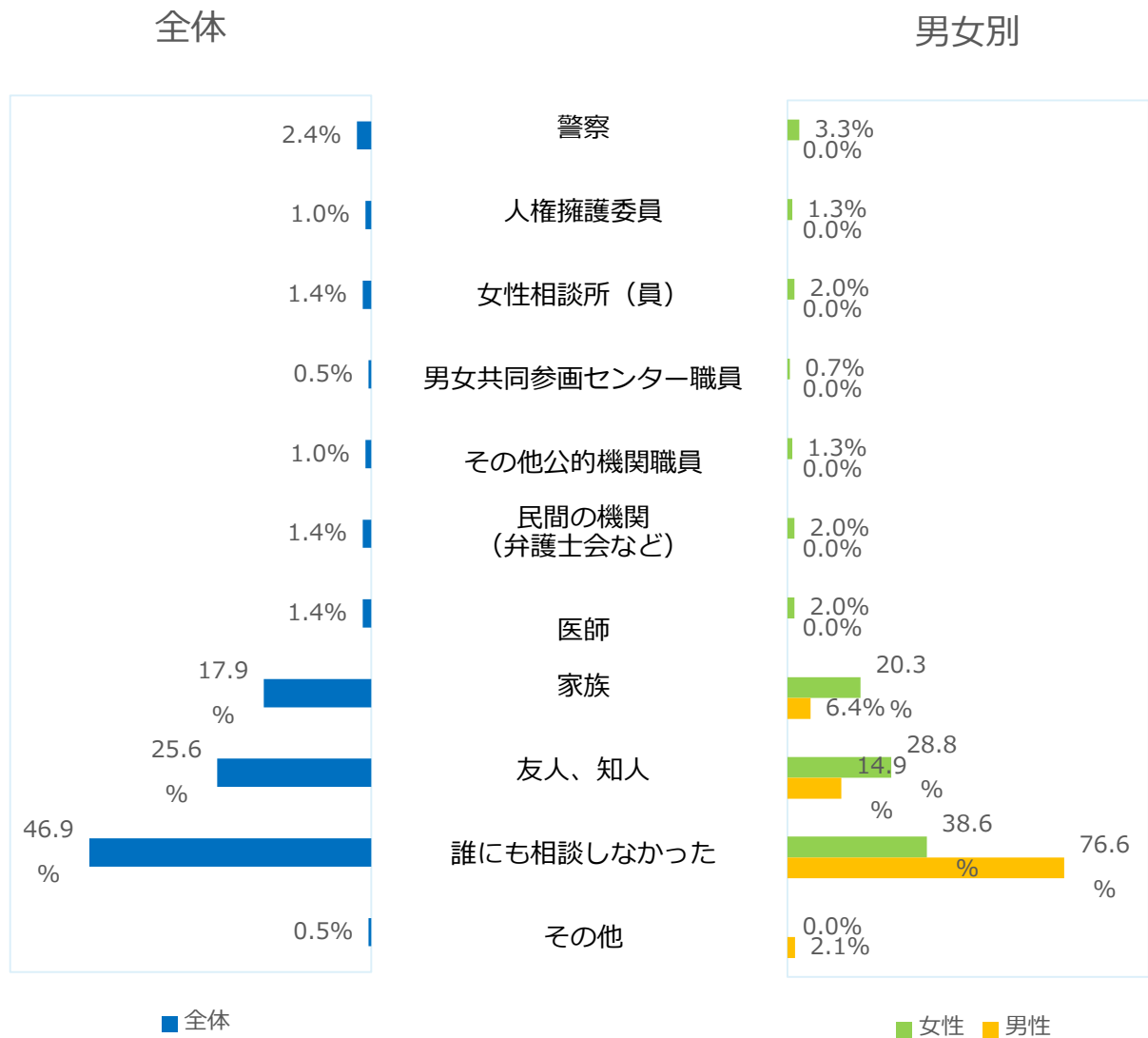


「大声でどなられる」「精神的な暴力」が43.7%「経験が全くない」が42.8%と最も高くなっていました。男女別でみると、男性35%女性47%でした。また、「性的な暴力」は5.9%「身体的な暴力」は6.3%が暴力を受けた経験があります。

女性意見	男性意見
言葉の暴力 人として否定された言葉をいわれる 暴言（モラルハラスメント） 自分は飲みに行って遅くなるのに、私のがのんで夜10:00とか11:00に帰ると不機嫌にしている 自分の使うお金は当たり前で、正当に使った場合でも浪費する言われた。	外に出ると変にうたがうこと

- ・「精神的な暴力」…「大声でどなられる」から「見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる」まで
- ・「性的な暴力」…いやがっているのに性的行為を強制される
- ・「身体的な暴力」…「医師の治療が必要とならない程度の暴力を受ける」「医師の治療が必要となる程度の暴力を受ける」「命の危険を感じるくらいの暴力を受ける」

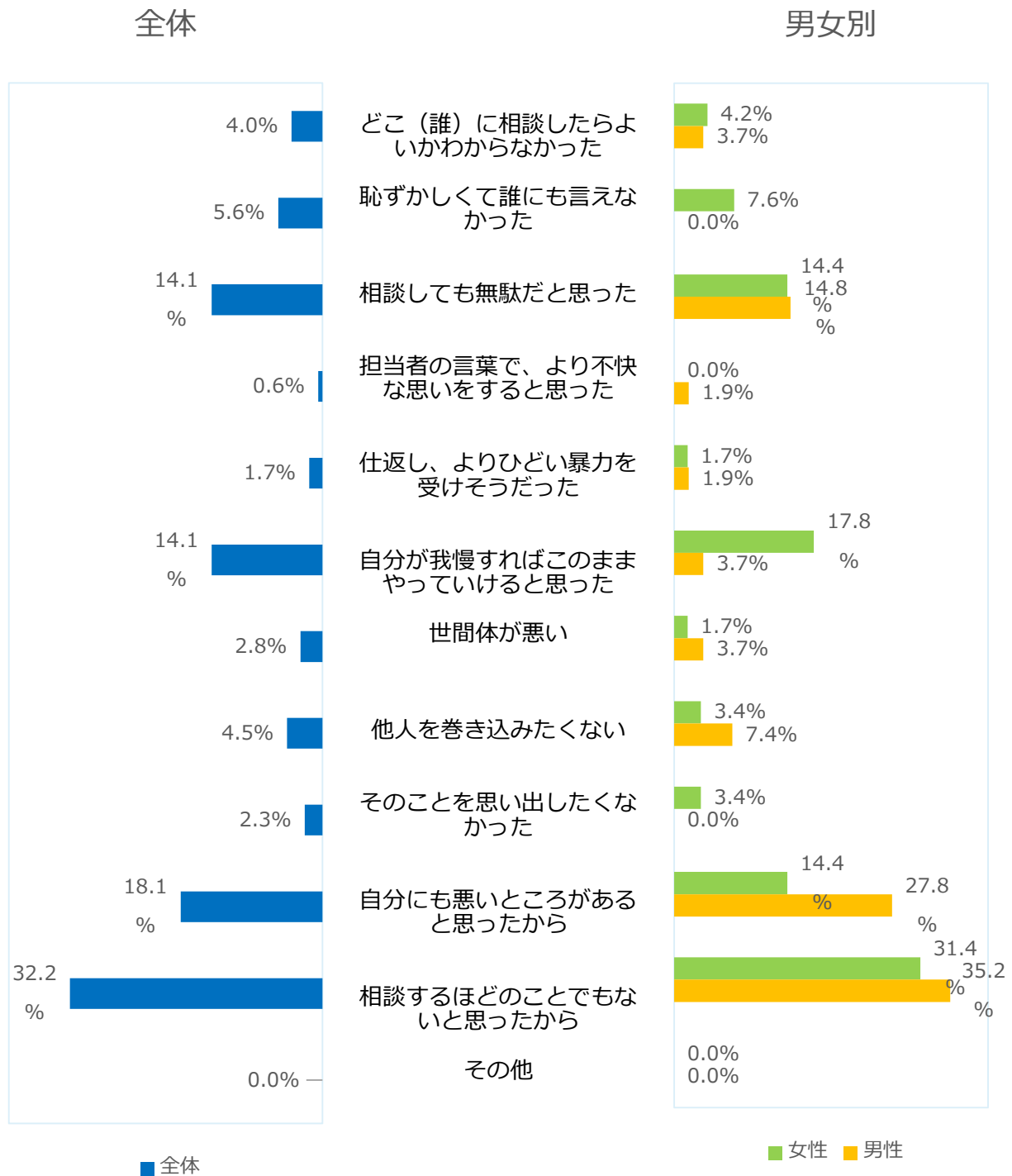
問23【配偶者や恋人からの暴力を受けた時の相談先】あなたは、問22であげたような夫や妻又は恋人からの行為について、誰かに相談しましたか（○はい/×いいえ）。



「どこ(だれ)にも相談しなかった」が45.3%と最も高く、続いて「友人・知人に相談した」が24.8%「家族に相談した」17.4%でした。

女性意見	男性意見
本人に不快であることを告げた 親、兄弟達に相談した。離婚をすすめられた。 誰かれにしゃべった 相談する程の大事でなかった ⑨相談したというより、ぐちった。 ・自分の父も、そんな感じだったから、男はそんなもんとあきらめた 相談する程ではない	他人に相談する事ではなく、自分で解決すべき事

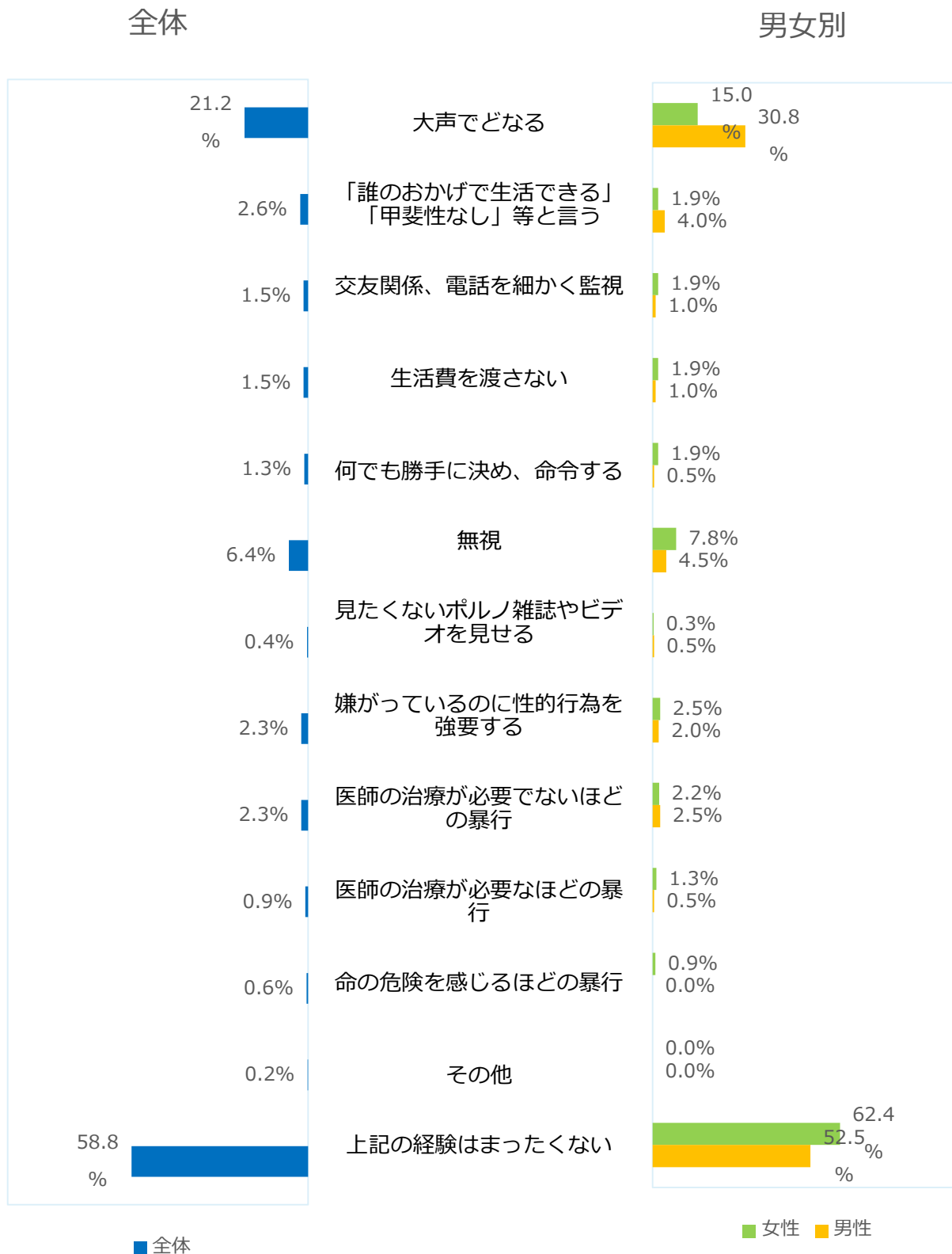
問24【配偶者や恋人から暴力を受けたときに相談しなかった理由】どこ（誰）にも相談しなかったのは、なぜですか（〇はいくつでも）。



「相談するほどのことでもないと思った」が32%と最も高く、続いて「自分にも悪いところがあると思った」18%のようです。男女別で見ると男性は「自分にも悪いところがあると思ったから」が27.3%と2番目に多く、女性は「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」が17.8%と2番目に多い理由となっています。

女性意見	男性意見
	自分で解決すべき事だから

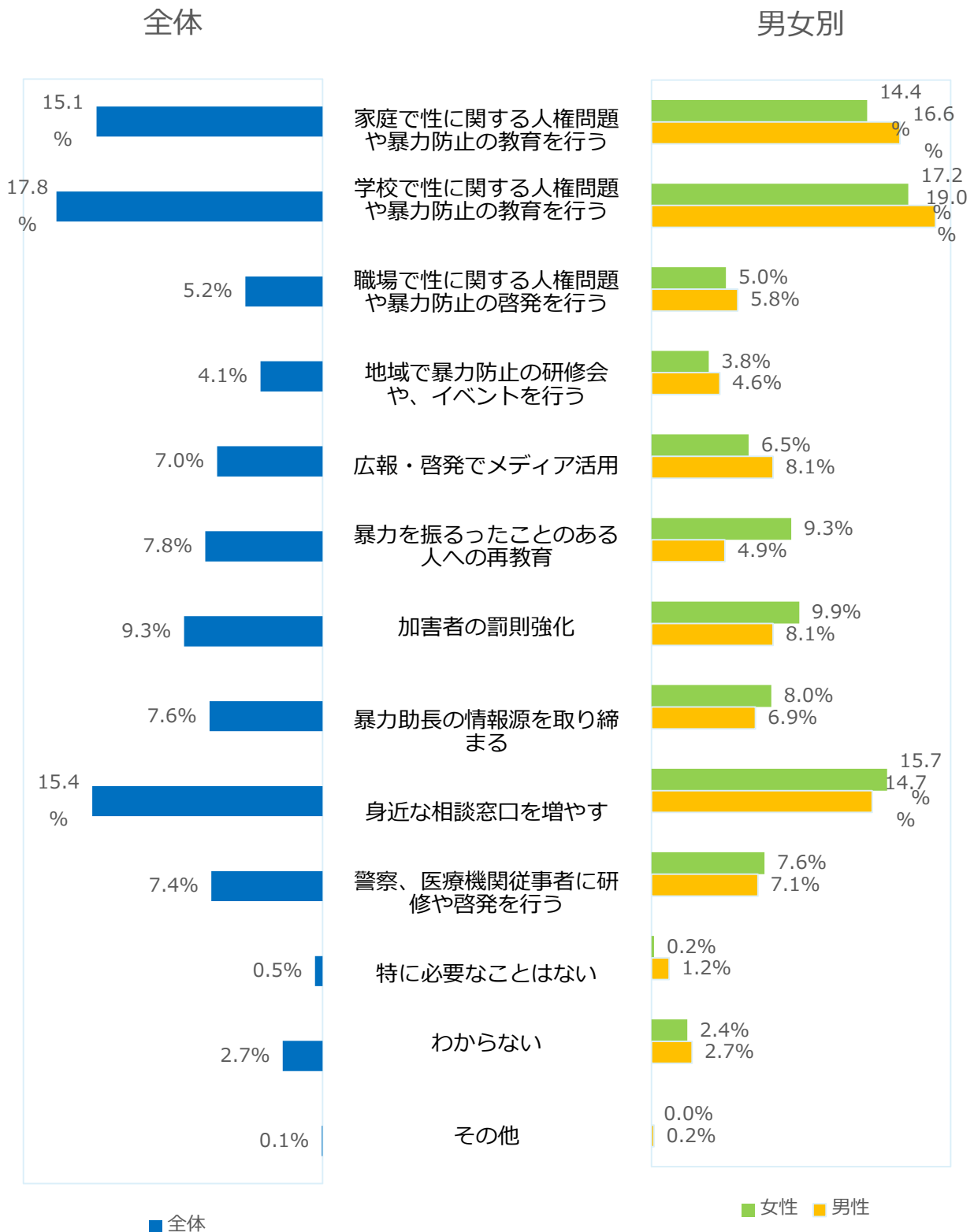
問25【配偶者や恋人等に対して暴力を行った経験】あなたは、あなたの夫や妻又は恋人に対して、次のことを行ったことがありますか（〇いくつでも）。



「経験は全くない」が58.6%と最も高く、続いて「精神的暴力」が34.8%と暴力を行った経験があるようです。

女性意見	男性意見
・相手に失礼なことは言った経験はあります。相手に不満を感じたから（場合において）	

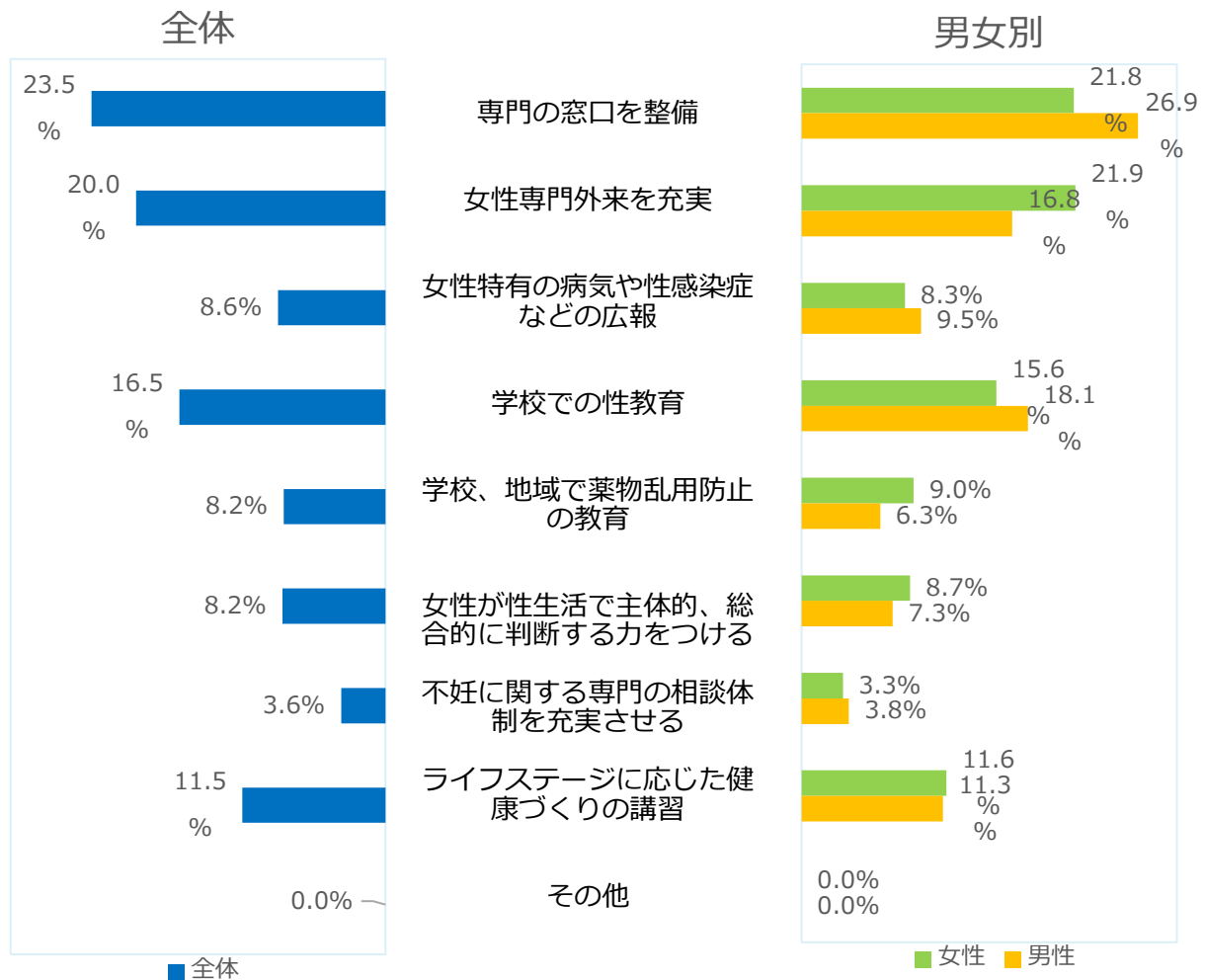
問26【暴力を防止するために必要なこと】あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だとお考えですか（○はいくつでも）。



「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が17.6%「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が15.3%「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が15.1%の順に必要なと考えているようです。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・心理分析を中・高生の頃から行い、予備軍はカウンセリング ・⑥はもう病気みたいなものなので教育しても無駄だと思う ・みんなで仲良くすれば子供は親を見て学ぶ危機を感じたときの相談窓口 ・家庭環境が問題だと思うので、そこから直すことが大切だと思う。親から子へ連鎖しているように思えます。 ・なるべく核家族にならない ・暴力をふるう者に防止は、なにをしてもなにをしてもなおらないだろうが ・"自分の身は自分で守る"各人考えるのも大事かと・・・ ・幼児の時から家族の会話が一番だと思います ・暴力は持って生まれた性格が影響するのでは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の教育、宗教教育により正しい価値観を心に育む ・暴力を起こす背景について調べ対策をとる ・スーパー等に小さな相談窓口を作る ・親の背を見て子供は育つことわざどおり ・暴力同等の罰を強化する

問27【女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために必要なこと】あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だとお考えですか（〇はいくつでも）。

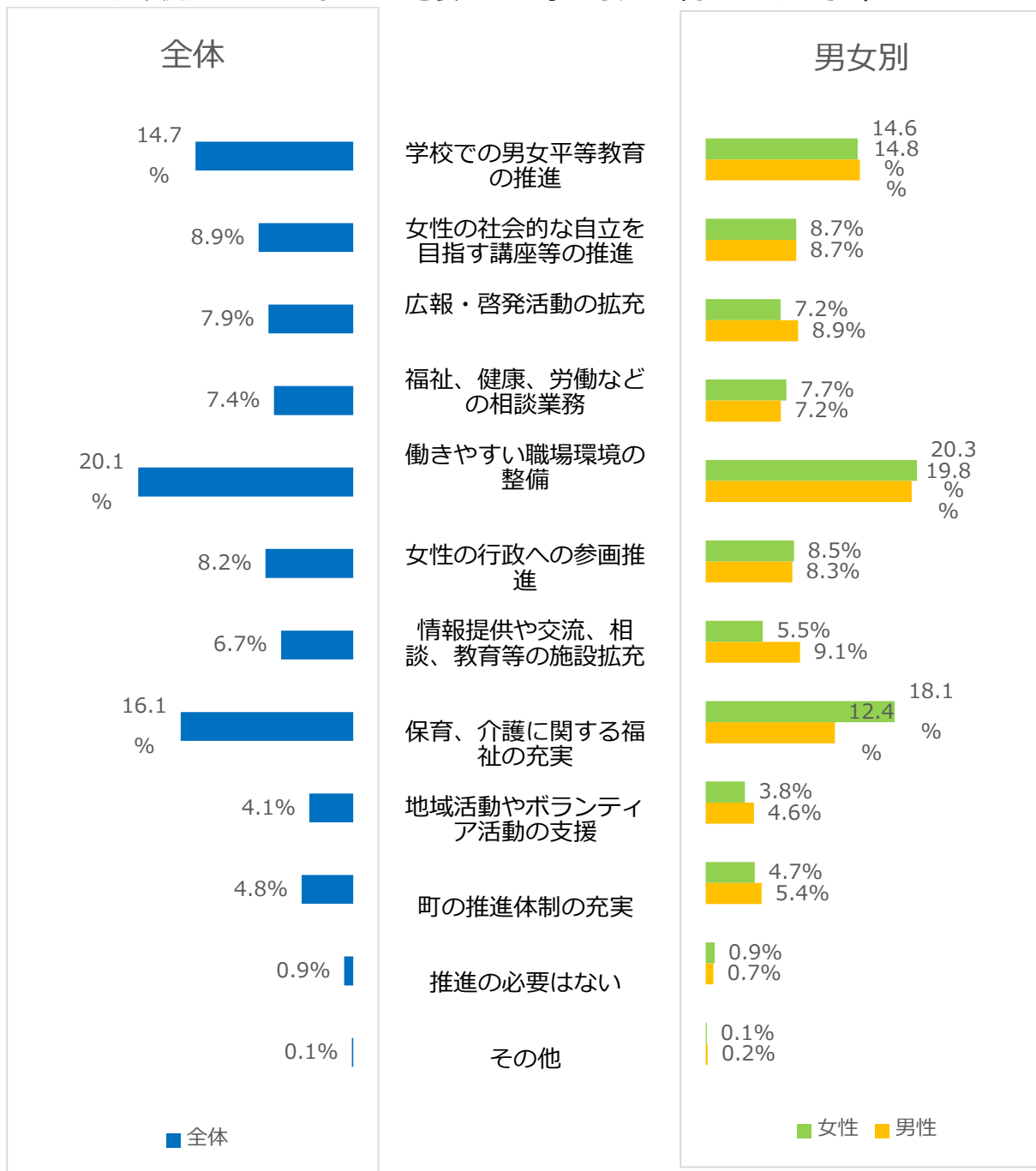


「女性の心や身体の健康の問題に関する専門の相談窓口を整備する」が23.3%「女性の医師が診療を行う「女性専用外来」を充実させる」が19.7%と最も高く必要だと考えているようです。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりする時間を作れることと、そんな場所を作る ・感謝 ・本人がその気にならないなら、ムダだろう ・パートナーの思いやりなどを心の健康が保たれます。パートナーともとことん話し合う。 ・自己管理すれば良い事なのでは？ ・心の成長が重要と思います。 ・保健センターにもっと気軽に行った方が良い。(みんないい人達がそろってます。)なんでも相談にのってくれました。 ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の中でのコミュニケーションにより相手をよく知る ・女性を束縛しない、させない事 ・女性の自主性等が必要 ・わからない

VIII 男女共同参画施策について

問28【町が推進すべき男女共同参画施策について】あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だとお考えですか（○はいくつでも）。



全体では「働きやすい職場環境の整備」が20%と最も高く、2番目に「保育・介護に関する福祉の充実」が16.1%、3番目に「学校教育における男女平等教育の推進」が14.7%と必要と考えているようです。

「保育・介護に関する福祉の充実」については、男性が12.4%必要と答えたことに比べ、女性は18.1%と5.7%の差がでました。女性が、実際に保育・介護に直面する機会が多いことでより重要だと感じている可能性が高いです。逆に「情報提供や交流、相談、教育等の施設拡充」については男性が3.6%女性の数値を上回っています。

女性意見	男性意見
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育 ・男女各々の特徴を相互に認め合う教育の大切 ・男性教育、女性とのディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女と考えなければ ・個人の問題であり、民事不介入

問29 男女共同参画社会づくりに関する町の施策について御意見がありましたら、御自由にお書きください。

性別	年齢	内 容
女性	18～19 歳	・女性の管理職を増やしてほしい。学校では、校長先生、教頭先生など
女性	20～29 歳	<p>・普段町外で仕をしており、正直に申し上げますと町がどのような施策・活動を行っているのか存じ上げません。地区の活動や町議会などを見ると、男性が話し続けていたり、女性の意見を無視する様子が見られるのは感じていました。どこの、とは申しませんが、町議の男性の態度は立派ですが、人としては・・・と感じる方が多く、女性の方はとても目線が低く、親近感が持ちやすいように感じました。大変残念です。変な意見を書き申し訳ありません。</p> <p>川南町は、住みやすくとても大切な町です。ここで、もっと女性が生き生きと生活・活動できる社会になればと思います。</p>
女性	30～39 歳	<p>・男、女はもっているものが違うと思うので、この中でいう「平等」というものは、どうなのかと思う。女性だけでなく、男性がもっと優遇されなくてはいけないこともあると思います。子どものある家庭であれば、夫の収入で充分であれば働かない人もいるのでは。</p> <p>・男の人がして当然、女の人がして当然という意識から変えていかなければならないと思います。学校ではそういう意識を植え付けても、家に帰ればそうではないとなり兼ねないので、どの年代にもむらなく男女共同参画社会の意識を植え付けてほしいです。お互い尊重し合えるといいです。</p> <p>・このアンケート自体が固定観念だと思わせるところが多々ありました。選択枠がないところがありました。重要なのは、個人個人の希望をかなえることだと思います。女性だから、男性だからこうあるべきというのはおかしいです。そもそもこの社会が、男性によって作りあげられたものなので、いきなり変えるのは無理です。少しずつ変えていって、もう限界にきている制度自体を、社会を変えていく必要がありますね。男女平等は、男性と女性が同じように働いたり家事をしたり地域活動をするのではなく（全て同じことをする）機会を与えることだと思います。そこが平等だと。男性と同じように遅くまで働かないと認められないというのは、違う。そうやって女性を追いつめればつめるほど、結婚できなかつたり、子供を産めなかつたり機会を奪われると思います。社会がそうさせている部分は、あると思います。</p> <p>・このようなアンケート結果をしっかりと公開し、男女平等女性参画社会をしっかりと整えて欲しい。女性が安心して働けるよう保育園の充実、保育料免除など、見直すべきことは多い。</p> <p>・正直、一部の人が頑張っても何も変えられないと思う。ある程度強制力のあるものでなければ「その他大勢」の人達までは届かないのでは・・・とってしまう。</p> <p>・前半の設問は務めの方に対する問にしか思えませんでした。自営でも仕事してる人はあまり当てはまらないように思えたので、もう少し設問のしかたを考えたほうが良いのではと思いました。</p>
男性	30～39 歳	・男性と女性にそれぞれ異なった造りが見られ、男性は主に理性で行動し、女性は感情で動くと言われています。自分の行動は主に、過去の生い

男性	30～39 歳	立ちや教育によって形づくられていきます。それら過去に、経験した手柄は変えられませんが、考え方は変化させることができます。自分の思いを何で満たすのかによって、個々の人の言動は左右されるでしょう。皆が正しい情報と意識を取り入れ行動する、そのような環境作りが求められていると感じます。
無記入	30～39 歳	・男女平等とはいっても、力仕事は男性が向いているし、そんな強い男性に守られる女性であることに疑問は感じません。何か問題があった時に気付いてもらえる、相談できるそんな環境が理想です。
女性	40～49 歳	<p>・税制の援助、子どもを育てていく上での金銭的にかかるので、子供がほしくても産めなくなる。そうなると父親は子育ての協力もできなく、働かないといけないうし、女性も子供を預けながらも働かないといけなくなり、不満がつのり、夫婦の間で喧嘩が絶えなくなっていくので、子供を育てるための国と町への支援を考えてほしい。</p> <p>・男女共同参画社会とは言えども、やはり男女は大きく役割が違うように思います。子供を産み育てる中で、母の役割、父の役割とあるように、全て、平等にとは思えません。最近思うことは、自分が子供の頃と現在では、男性がより協力的である事を痛感しております。男性の方が大きく変わってきている様に思えます。ただ、一部で暴力などもよく耳にして悲しい限りですが、良くも悪くも女性も強くなり過ぎなのかなあと思う事もあります。これからの皆様には、お互いを支え合える男女共同参画社会を作りあげていただきたいです。</p> <p>・男女共同参画はとても望ましいですが、個人の能力、作業の内容、家庭の事情などで、男であっても女であってもできない事柄があります。その部分があるのにそれをムリやり共同参画だからとおしつける事はしてほしくないと思います。できる人ができる事をすればいいのではないのでしょうか。そのできる人ができる事をするときに男が女がと言わないとか、人数を決めないとかすればいいのではないのでしょうか。</p> <p>・小さな子供を預ける保育所の充実が必要だと思います。特に乳児保育や一時保育、病後児保育など・・・。</p> <p>・平等教育の中にみんな同じという教育ではなく、それぞれ個々には差があるという視点で教育してほしい。みんな同じようにはできない人もいるし、それ以上にできる人もいます。そこをお互いで補っていこうという教育にしてほしい。</p> <p>・保育所、児童クラブ等の利用時間を行政の時間が基本になっているのがおかしいと思います。</p> <p>・町の施策がわからない。女性に対する質問ばかりで女性の人権が尊重されてない様に感じた。</p>
女性	40～49 歳	・私は川南町へ転居して3年経とうとしている者です。町内では仕事に就いておらずわからないこともあります。子どもの学校の行事等で町の方々と接することがあり、人間性は大変温かみを感じております。しかし、部活等におき同じ部内のママさん等「お茶出し、弁当出したり等は女性だよ」とやはり男女の役割を皆に決めつけられている所があるかと思いました。力仕事で男性がいて、本当にありがたいと思うこともあるのは正直な所で難しい面もありますが、互いの立場を理解できるような意識付けを持つことが求められると思います。

男性	40～49 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画づくり」とよく聞くフレーズだが、中身がぼんやりしてていまいち理解に苦しむ。もっとわかりやすく説明してくれる方法はないのでしょうか？初めから男女に差別があるとの前提みたいですが、私のまわりではそうは感じられない。そういったことを、例をあげて説明していけばいいのではないのでしょうか。 ・このアンケートは人間の本質がこわれるような所まで介入している気がする。例えば、地域で祭りが有り、女性は炊き出し、男性は神社のそうじやしめ縄作りなどをします。そして、子供はお母さんからおにぎりをもらう、それが自然だと思う。男女差別とは、職場等で仕事の能力素質がありながら、男性より女性は低給料、昇進しづらいなどの差別をなくす事を考えなければならないのでは？
女性	50～59 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・意識改革が必要なので、時間がかかるとは思いますが、まずは、役場が男女共同参画のモデルとなり推進されるのがよいと思います。女性管理職を増やしたり、女性議員を増やしたり各地区でも女性の役員を増やしていくとよいと思います。 ・結局は男性優位の社会は、変えられないと思う。法律を作っているのは男性だから ・このようなアンケートを作っただきありがとうございました。改めて考えさせられたこと・・・勉強にもなりました。自分なりに考えなければならぬなーとも思いました。 ・男女共同参画の施策内容がほとんど理解できないと思うので、まずは説明からしてほしいと思う。男女雇用均等法とかあるけれど、50年前から並べると改善されてきたことは事実だけど、ほんとうに地方で推進されてるようには思えない。大都市での話しではないかと思う。ただ女性もしっかり自分の意見を言えるようになったことは素晴らしい、性差のない”人”としての成長は必要だと思う。 ・性別、年齢にこだわらずお互い思いやりをもってほしい
男性	50～59 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に気を使いすぎ⇒女性の気持ち次第だと思う 男性に理解があれば同等に参画できるはず。女性は甘えすぎないように⇒特に公務員
男性	50～59 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・平等と言っても男と女の体力は違います。労働力として農家では平等になり得ない！持ち分と言う事も考えて、取り組む事も必要です。
女性	60～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・今の女性はそんなに弱いのですか？多数の女性が本気でいろんな場に参画したいと思っていますか？今の社会は、女性を受け入れやすいと思うのですが。私は農家なので職場の雰囲気くみ取ることができませんが、今の社会が示すような数だけの帳じりはだめだと思います。男女を問わず、実力のある人がそれなりの役で力を発揮してほしいと思います。それを素直に受け入れる社会づくりが大事だと思います。 ・今は体づくりの運動を少し、お金をはらってもちょっと運動をしてこようかと思うような所を作ってほしい（カーブス）みたいな所。時間を何時ときめない好きなときに行く ・高齢者でも働く場所が多くなればよいと思います。意欲のある人は頑張ります ・子どものころからの教育（家庭での）が基本 ・女性・男性の「性」がやはり存在しているように思うので、女性が男と

女性	60～69 歳	<p>して全く同じようには活動できない。又、男性も同じであるので、お互いの性の特徴を尊重する教育は、人間の基本的として必要な気がします。全く「全てが平等に・・・」とは考えられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会づくりがなんなのかわかっていない方が多数いらっしゃると思うので広報、啓発活動がとても重要。子どもさん達が小さいときから教育が必要だと思う。 ・男女平等を推進していくことは大変いいことですが、参画となりますます女性の出産率が低くなるのではないかと心配にもなります。
男性	60～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4 町合併問題等、町が音頭として何回も集会等に参加協力したが、町長達の都合、町の都合でやめたいで終わらせる事は何んともおかしな話。町の方館の廃止にしても・・・・・・・・。 <p>女性自身がやる気をもって参加、進出する気が生れない限り、男女平等のかけ声だおれになる事は、火を見るより明らか！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体の女性の意見を取り入れ、施策づくりをしていけたらいいと思います。※何年か前にもこんなアンケートを書いたおぼえがあります！！（返答もない）1 時間もかかりむだではないか？ ・ この社会づくりには、男性に家庭内での協力及び企業、行政が自主的に推進実行する姿勢がなければ全く先がみえないと思われます。施策で思われた事項で！について、早期少しでも実行に移行することが大事だと感じます。 ・ 上記（問 2 8）の○を付けた項目の推進。 ・ 誰もが集まれる場所がわかりません。この広報をお願いします。
女性	70 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心も身体も健康なことが第一です。成人男女が幸せな結婚ができること、それには十分な生活ができる経済が必要です。男女共同参画社会をという前に、それぞれが能力を発揮できる仕事場が必要です。 ・ これからの人生男女平等は願うことですが、男らしさ女らしさと差があるのも当然です。お互いが尊敬し不平不満の少ない世の中であってほしいと思います。高齢になりましたので、若い人たちの意見が向上することを願っています。これから頑張る人たちが働きやすい宮崎でありますように ・ 特にありませんが、高齢なため自分で体操したり、ウォーキングしたり、家事をこなす1日1回は、太陽の下に出て、少しでもよい空気を吸って元気でいたいと思います。 ・ 人手不足を理解してほしい。町（行政）は、振興班の実態をシビアに把握してほしい。 ・ 町の施策というより、児湯郡と一体となり意見を聞いて良い社会づくりに。 ・ 町役場に女性の課長を ・ 若い現役から老後を見据え働き、健康管理を続けた人が退職後、少しの期間生活の心配がなければ社会の奉仕、ボランティアはできると思いますが、病院通い毎日の生活に追われ、買物に行くのも足がなく、時間もない現実では、道路奉仕草刈、清掃、催しものの参加等厳しくなって、60代で若い方、70代～80代と高齢化し、毎年参加者も減っております。今たまに会って話すのは葬儀のことです。子供は県外で就職し、家庭をもてば間に合わないこともあるかと思ひます。老親はもちろん、子供達も心配しないように、年金で日々の生活費を差引いてもまかなえる葬儀はできな

女性	70 歳以上	<p>いものかと思えます。10万でも大変なのに50万～100万も一人に死んだ後の貯えは何人の人ができるのでしょうか。子育て、産業振興はもちろんですが、人生の終わりもふるさと川南で安心してできる町であってほしい。高学歴、今は若い人も知恵を出し合って考えてほしい。</p>
男性	70 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掛声だけで終わらないこと。繰返し繰返し討議し計画倒れをしない事を願う。 ・ 個々の意識の向上がないと、何もできない。男女の差があっても、必要な事と逆の事がある事を知る必要。役職、地位の差に女性優遇などで、数であわせるのは逆行為。数の合わせの前に、教育、育成が大切。条例の意義が見えない。何を求めてよいのか??? 設問にとまどいが多い。答えも納得しないでつけている。 ・ 自然は生まれながらに男を強堅な体に、女を優美にして子供を産み育てる(母乳)体にしています。故に、男と女はおのずと、できる事とできない事や得意とする分野があります。男女共同参画施策の立案・推進にあたっては、人権・社会進出の分野について男女間の差をなくすことであって、生まれながらの適性の分野まで踏み込もうとすると無理があると思います。男女が共に同じになることが大事ではなく、お互いの適性で調和する事が大事ではないかと思えます。 ・ 男女共同参画社会づくりに関する町の施策については、判りやすく町民への周知を徹底してほしい。 ・ 年配の方は頭もかたいので、昔ながらのやり方を一朝一夕には変えたがらないのでなかなか時間が掛かると思うが、先のことを考えればヨーロッパみたいに国会議員も半分以上が女性にならないとね。子どもの教育が大事だと思う。特に地域の行事とかは女はだまっちょけ、いらんこつとか男は言う! ・ リーダーとなるべき役場職員のトレーニングがたりない。共同参画の1つ行事、地域のリーダーとなるべき役場職員 OB の参加が1番悪いのは何なの?

%